

平成24年度第5回工学システム学類教育会議議事次第

- 1 日時 平成24年9月21日(金) 15:00～
- 2 場所 工学系F棟 3F400会議室
- 3 審議事項
 - (1) 平成24年度第4回工学システム学類教育会議議事要旨(案)の確認について・・・資料1
 - (2) カリキュラムについて・・・資料2
 - (3) 教育点検改善について・・・資料3
 - (4) FD委員会について
 - (5) 平成24年度卒業研究発表日程について
 - (6) 卒業研究配属方法について・・・資料4
 - (7) 主専攻内定者の配属について・・・回収資料1
 - (8) 学籍異動について・・・資料5
 - (9) 学類ホームページについて・・・資料6
 - (10) その他
- 4 報告事項
 - (1) 平成24年度第2学期推薦入試、平成25年度編入学試験及び平成25年度アドミッションセンター入試(第I期)について・・・資料7
 - (2) 平成24年度第2学期入学者オリエンテーションおよび夏季補講について・・・資料8
 - (3) 日韓共同理工系学部留学生プログラムWG報告・・・資料9
 - (4) 大学説明会(8/1)について・・・資料10
 - (5) 高校生のための体験セミナー・公開講座(7/31)について・・・資料11
 - (6) 講師派遣・本学見学等の依頼について
 - ・ 附属駒場高等学校研究室訪問(7/12) 浜中講師
 - ・ 茗溪学園SSH講演会講師派遣(7/17) 庄司准教授
 - ・ 茨城県立下館第一高等学校出前講義(7/30) 掛谷准教授
 - ・ 茨城県立境高等学校出前講義(10/24) 相山准教授
 - ・ 茨城県立竹園高等学校出前講義(11/5) 西岡学類長
 - ・ 福島県立磐城高等学校出前講義(12/5) 鈴木准教授
 - ・ 福島県立磐城桜ヶ丘高等学校出前講義(12/6) 文字准教授
 - ・ 神奈川県立総合産業高等学校研究室体験(12/18) 石田教授
 - (7) 学群教育会議(7/17, 9/18)報告・・・資料12
 - (8) 3専攻教育会議報告・・・資料13
 - (9) その他
- 5 配付資料
 - (1) 平成24年度第4回工学システム学類教育会議議事要旨(案)
 - (2) H24年度工学システム学類第4回カリキュラム委員会議事録
H24年度工学システム学類第5回カリキュラム委員会議事録
 - (3) 平成24年度(2012年度)PDCA委員会報告

- (4) 平成25年度(2013年度)卒業研究配属方法(案)
- (5) 学籍異動について
- (6) 工学システム学類ホームページについて
- (7) 平成24年度第2学期推薦入試実施状況
 - 平成25年度学群編入学試験実施状況
 - 平成25年度アドミッションセンター入試(第I期)実施状況
- (8) 平成24年度2学期入学者向けオリエンテーションおよび補講実施報告
- (9) 平成24年度日韓共同理工系学部留学生プログラム第2次第3期生ワーキンググループ議事次第
- (10) 平成24年度受験生のための筑波大学説明会関係
- (11) 「高校生のための楽しい工学システム体験セミナー」実施報告
- (12) 平成24年度第4回学群教育会議議事次第
 - 平成24年度第5回学群教育会議議事次第
- (13) 2012(H24)年度第5回知能機能システム専攻教育会議、
2012(H24)年度第5回知能機能工学域教員会議
平成24年度第5回構造エネルギー工学域教員会議、
平成24年度第5回構造エネルギー工学専攻教育会議
2012年度第5回システム情報工学研究科リスク工学専攻教育会議

6 回収資料

- (1) 主専攻内定者の配属について

平成24年度第4回 工学システム学類教育会議議事要旨 (案)

- 1 日 時 平成24年7月11日(水) 15:05~16:55
- 2 場 所 工学系F棟 3F400会議室
- 3 出席者 構成員 西岡(議長)、岩田、宇津呂、大田、鬼沢、葛岡、坪内、堀(憲)、丸山、水谷、宮本、森田、安信、掛谷、古賀、中内、長谷川(学)、長谷川(泰)、星野(准)、望山、矢野、延原、山下、澁谷、奥野、河井、京藤、金野、境、武若、寺本、山田、磯部、岡島、笠原、庄司、堀(三)、松田(哲)、文字、花田、八十島
・・・以上41名(定足数34名)
- 4 配付資料
 - (1) 平成24年度第3回工学システム学類教育会議議事要旨(案)
 - (2) 平成24年度第3回カリキュラム委員会議事録(案)
平成24年度工学システム学類第4回カリキュラム委員会2学期制編成WG議事メモ(案)
工学システム学類TA実績(H23)
 - (3) 平成24年度(2012年度)PDCA幹事会
 - (4) 平成24年度2学期入学者の夏季補講実施計画案
 - (5) 学群共通数学再教育プログラム関係資料
 - (6) 平成24年度非常勤講師任用計画書
 - (7) 平成24年度工学システム学類クラス連絡会(第1回)議事録
 - (8) 学籍異動について
 - (9) 平成24年度アドミッションセンター入試(第Ⅱ期)実施状況
 - (10) 「平成24年度受験生のための筑波大学説明会」の実施内容等
 - (11) 平成24年度第3回学群教育会議議事次第
第203回第三学群運営委員会議事次第
第43回理工学群運営委員会議事次第
 - (12) 2012(H24)年度第4回知能機能システム専攻教育会議、
2012(H24)年度第4回知能機能工学域教員会議
平成24年度第4回構造エネルギー工学域教員会議、
平成24年度第4回構造エネルギー工学専攻教育会議
2012年度第4回システム情報工学研究科リスク工学専攻教育会議
- 5 審議事項
 - (1) 平成24年度第3回工学システム学類教育会議議事要旨(案)の確認について(両学群)
平成24年度第3回工学システム学類教育会議議事要旨(案)は、原案どおり承認された。
 - (2) カリキュラムについて(両学群)
坪内カリキュラム委員会委員長および丸山、境、奥野各カリキュラム委員会委員から、資料2(P.4-9)に基づき、平成25年度の時間割について説明があった。
今後は細かい修正を行い、次回学類教育会議で時間割を決定することが承認された。
なお、意見等がある場合には、次回カリキュラム委員会(7月25日開催)までに申し出てほしい旨依頼があった。
次に、議長から、資料2(P.10)に基づき、平成23年度TA実績について報告があった。

(3) 教育点検改善について（両学群）

武若教育点検改善委員会委員長から、資料3に基づき、PDCA幹事会議事内容の説明があり、承認された。

(4) 高専編入生の単位認定について（理工学群）

議長から、高専の教育課程を踏まえ、現在の上限認定単位数を見直す必要性について説明があり、平成25年4月入学者からの適用に向けPDCA委員会で検討していくことが承認された。

(5) FD委員会について（両学群）

審議事項なし。

(6) 2学期入学者の夏季補講について（理工学群）

議長から、2学期入学者が確定した場合には、資料4のとおり実施予定である旨説明があり、原案どおり承認された。

(7) 学群共通数学再教育プログラムについて（理工学群）

議長から、資料5に基づき説明があり、学群共通数学再教育プログラムの開講および非常勤講師の担当科目追加について承認された。

(8) 非常勤講師の任用について（理工学群）

議長から、資料6に基づき、授業担当教員が他大学へ転出したことにより任用手続きを行う旨説明があり、承認された。

(9) 平成24年度第1学期期末試験結果に基づく成績不振学生の指導について（両学群）

議長から、1学期の成績不振学生に対し、クラス担任より指導願いたい旨依頼があった。

(10) 主専攻内定者の配属について（理工学群）

議長から、1学期の成績に基づき、主専攻内定者の配属について2年生クラス担任で確認してほしい旨依頼があった。

(11) 第1回クラス連絡会について（両学群）

望山学生担当教員から、資料7に基づき、第1回クラス連絡会の報告があった。

学生から要望のあった2学期制移行に伴う説明会の実施、およびカリキュラム案の事前提示について審議の結果、要望に応えることが承認された。

なお、カリキュラム案の開示方法および意見等の受付については、カリキュラム委員会に一任することとなった。

(12) 学籍異動について（理工学群）

議長から、資料8に基づき説明があり、休学2名が承認された。

(13) その他

なし。

6 報告事項

(1) 7月期入試（AC第Ⅱ期、第2学期推薦入試及び3年次編入学試験）の結果について

（理工学群）

議長から、資料9に基づき、実施状況の報告があった。

(2) 大学説明会について(理工学群)

議長から、資料10に基づき、実施内容等の説明および協力依頼があった。

(3) 講師派遣・本学見学等の依頼について(理工学群)

議長から、関係教員に対し協力依頼があった。

(4) 学群教育会議(6/19)、学群運営委員会(6/27)報告(両学群)

議長から、資料11に基づき報告があった。

なお、筑波大学GPA制度の実施については、現行の学類でのGPAとの兼ね合い、成績評価基準等今後検討を要することが確認された。

(5) 3専攻教育会議報告(両学群)

資料12に基づき、以下の報告があった。

- ① 2012(H24)年度第4回知能機能システム専攻教育会議(岩田専攻長)
2012(H24)年度第4回知能機能工学域教員会議
- ② 平成24年度第4回構造エネルギー工学域教員会議(山田教授)
平成24年度第4回構造エネルギー工学専攻教育会議
- ③ 2012年度第4回システム情報工学研究科リスク工学専攻教育会議(金野教授)

(6) その他

なし。

次回日程(予定) 平成24年9月21日(金) 15:00~

資料2

H24年度工学システム学類第4回カリキュラム委員会議事録

1. 日時： 2012/07/25, 13:30-

2. 場所： 工学システム学類長室

3. 出席者：西岡・坪内（委員長）・丸山（知的主任）・星野（聖）（機能主任）・奥野（エネ主任）・境（環境主任）・堀（前学類長）

知機選出 古賀（シラバス・JABEE・GPA）・亀田能（シラバス・JABEE・GPA）・掛谷（TA関係2年目）

環エ選出 庄司（履修要覧・開設授業科目一覧）、松田昭（履修要覧・開設授業科目一覧1年目）、金子（TA関係）

記録者：亀田

4. 配布資料

資料0-1 H24カリキュラム委員会作業予定表

資料0-2 第2回カリキュラム委員会議事メモ

資料1 平成25年度から実施する2学期制の実施に向けた検討状況に関するアンケートおよび意見・課題等に関する調査について（回答）

資料2 固定時間割確定案 工学システム学類

資料3 固定時間割 教職

資料4 知的・機能主専攻 時間割案

資料5 環境主専攻 時間割案

資料6 エネルギー主専攻 時間割案

資料7 平成24年度2学期入学者向けオリエンテーションおよび補講

5. 議題

(1) 議事録確認

(2) 年間作業日程について

・KdBに入力したものに基づいて作業する

科目設定はKdB入力権限者のみ。

科目の内容入力各教員（統一アカウント）で可能。

3月半ばで入力終了。

・KdB入力権限者：坪内先生、学類長（昨年度は庄司先生入力）のほか、カリキュラム委員は可能とのこと。

・昨年度までの作業

昨年度はexcelファイルベースしていた（今年はこの作業はない）。

スタートはWWWシラバスを先に開設。（授業概要のみ各教員が入力）

データを開設授業科目一覧作成側に渡す。

- ・開設授業科目一覧、H25年度は紙版作成。
- ・昨年度の庄司先生と古賀先生、亀田能でKdBに基幹を乗り換えるかどうかを検討して次回委員会に報告する。

(3) 2学期制導入に対する作業について

下記各項目参照。

(3-1) 各主専攻の案の現況について

→知能機能：資料4・丸山先生：大きな変更なし。2年生のプログラミング関係の授業を再構成した。1年生の復習数学1を春C（解析1の落第者をすぐ復習数学1で拾うため）、復習数学2を秋ABに変更（春に落とした学生を拾うため）。3ページ目は計算機室利用予定。問題点として、実験オリエンテーションが情報処理実習（1年）と計算機室が重なるのでこのままでは開催できない。

→知的機能の「応用数学1」については名称変更する（多種専攻との関係）

→環境：資料5：境：材料力学が分割された。専門応用実験についても変更した。他若干のバッティングあったので今後調整。木曜・金曜の実験総入れ替えについては担当者変更などで対処予定。

→エネ：資料6：奥野：前期を専門実験、後期を応用実験に編成し直す（環境はすでに編成済みでそれに合わせる）。

(3-2) 全体

→今後の人事次第では授業担当等変更（追加）の可能性がありえるかもしれない。

→専門英語A（春AB）、専門英語B（秋AB）にしている。どちらかを選択必修にすれば単位的にはクリアできるのではないかと（要確認）。

→1年生の英語：単位数は同じだが授業時間数は減る。春C・秋Cについては実施要確認。

→2年生の英語：問題点は1年生と同じ。

(3-3) シミュレーション

→2学期入学制

→建築士

→教職科目

→1年生、2年生で必修を落とした学生（『内定学生』含む）

→JABEE

→単位計算のための科目読替テーブル

→3年生早期修了（特別卒業研究、4年生1学期「技術者のための倫理」科目は対応可能）

→科目番号つけ（授業の違いは科目番号の違いと等価にしない）

内容が変更ある科目番号を変えるものは科目名も変更するようにする。

卒業研究科目もこれに準ずる。

→過年度対策としては、過年度科目履修内容に対応して出席や試験等各先生に対応していただく（過年度科目も全てKdB上に残して、学生が内容に見合うだけの履修が済んだ時点で過年度科目の単位を認定する）。

→卒業研究について

集中科目を途中で評価して、途中で留学（休学）等できるように配慮することを検討する。たとえば、卒業研究A：3単位（前期）、卒業研究B：3単位（後期）、卒業研究C：2単位（発表）。

→具体的な作業内容・日程については8月3日の2学期制WGで詰める。

(3-4) 学類生向け説明会

→開示はOK（前回学類会議）

→時間割編成を知りたいという要望。

→9月3日からの週に説明会を予定。

→適切な資料を委員長で準備してwww等で掲示。

(4) その他

・平成24年度2学期入学者向けオリエンテーションおよび補講

→H24年度2学期入学者1名

→夏休み中にオリエンテーションおよび補講を実施

・石川先生（H25.3ご退官）の科目の引き継ぎについて今後検討。

・次回は9/14(金),15:00より学類長室で開催予定。

以上

平成24年度第5回 カリキュラム委員会 議事録

1. 日時： 平成24年9月14日（金） 13:30～15:30
2. 場所： 3B棟3階 工学システム学類長室
3. 出席者： 西岡（学類長）、坪内（委員長）、丸山（知的主任）、星野聖（機能主任）、境（環境主任）、奥野（エネ主任）、古賀、掛谷、亀田能（知的機能選出）、庄司、松田昭、金子（環境エネ選出）、堀（前学類長）（下線は欠席者）

4. 議題

- (1) 前回カリキュラム委員会議事録の確認【資料0-2】
- (2) 年間作業日程について【資料0-1】
- (3) 2学期制導入に対する作業について
 - 学類生向け説明会の状況とフィードバックについて
 - 必修を落とした学生に対するカリキュラム編成確認
 - その他
- (4) 「計測工学」担当者
- (5) シラバスについて
- (6) 今後の入力作業予定
- (7) その他

5. 配付資料

- 【資料0-1】 H24年度カリキュラム委員会作業予定表
- 【資料0-2】 第4回カリキュラム委員会議事メモ
- 【資料1】 第2回全学学群教育課程委員会資料 抜粋
- 【資料2】 1年生・知能機能 2学期制編成案（20120914版）
- 【資料3】 環境2学期制編成案（20120914版）
- 【資料4】 エネルギー2学期制編成案（20120914版）

6. 議事

- (1) 前回カリキュラム委員会議事録の確認
 - 問題点は指摘されなかった。
- (2) 年間作業日程について
 - シラバス・開設科目一覧作成の日程について議論した。具体的な内容は項目（5）に記載。
- (3) 2学期制導入に対する作業について
 - 丸山委員から、1年生で必修単位を落とした場合（出席すれば単位取得できる科目は除く）、2年生で再履修が可能であることを、春秋学期の全曜日について順に確認しながら説明がなされた。さらに、丸山委員と奥野委員から、2年生の必修科目を落とした場合、3年生で再履修できない科目は環境・エネルギー

ギー主専攻の複素関数Ⅰを除いてないことを、春秋学期の全曜日について順に確認しながら説明がなされた。唯一残っている問題である、環境・エネルギー主専攻必修科目の複素関数Ⅰ（3年生の実験と重なる）の配置について議論が行われた。具体的解決方法はいくつか提示されたが、具体的対策についてはエネルギー・環境の主専攻主任と科目担当者である高田先生との間で調整することとした。また、奥野委員から、エネルギー工学主専攻に多い秋BC開講科目を秋ABに移動する方向で調整中であることが報告された。

(4) 「計測工学」担当者

昨年まで同講義を担当していた川村講師退職による後任は海老原助教に決定しているが、助教のため共同担当教員が必要である。専門の類似性から若槻先生にお願いすることとし、今後当委員会より依頼を行うこととした。

(5) シラバスについて

昨年度までの方法を踏襲して、学類の Web ページから入力し、それを後でカリキュラム委員会の担当者が KdB に写す方向で準備を進めることにした。そのために、2学期に対応した Web 入力システムに改修をお願いする必要がある。同じ科目で別の科目名や番号を振る必要があるものについては、どの年度から立ち上げなければならないか、あるいはどの年度から廃止するかなどを台帳にして引き継ぐ必要がある。この台帳は各専攻主任が作成し、シラバス担当者に引き渡して9月末には Web 入力システムを稼働できるように準備する。各専攻主任の作成した台帳に間違いがないかをダブル・チェックするため、9月25日（火）15時よりカリキュラム委員会懇談会を開催することとした。

(6) 今後の入力作業予定

項目（5）参照。

(7) その他

次回のカリキュラム委員会を10月1日（月）12時～14時に開催することとした。

H24 年度 カリキュラム委員会 作業予定表 (2012.9.14)

	H24, 25 TA (掛谷, 金子)	H24 GPA 計算, JABEE 判定 (古賀, 亀田[能])	H25 開設授業科目一 覧・履修要覧 (4 主 任, 庄司, 松田)	H25 シラバス (亀田[能], 古賀)	H25 学期制移行 (4 主任, 坪内, 西岡, 他 WG)	その他
3 月		・大学院科目受講生 (=院 推薦入試候補)				
4 月	・H22 TA 経 費の最終報 告	・主専攻振分け ・GPA 速報 ・JABEE 認定番号 (同窓 会委員)				・総合科目の掲示 ・編入生単位読替
5 月		・院推薦入試候補			移行案作成	
6 月					移行案作成 (教育会議提示)	
7 月		・2 学期着手判定	・KdB 入力可能		移行案成案 (教育会議承認)	
8 月		・JABEE 判定予行		・開講要件確認 (主任からデー タ受取り)	移行案シミュレ ーション ←H25 シラバス作 成作業へ同期 講義の流れ図など 確認整備	・補講 (2 学期入学者) ・復習数学演習受講者選 定: 数学担当者
9 月	・1 学期の TA 経費状 況チェック	・1 学期 GPA	・Web データから一 覧の原本作成	・開講要件確定 ・Web シラバスサ イト仮オープン & 教員入力	移行案成案 (教育会議承認) 学類生への説明会	・←Web シラバスは, KdB で可能. エシスのシステム を利用するか, KdB に移行 するか, 吟味必要
10 月			・要覧と一覧の教員会 議での承認。			・開設授業科目一覧 (総合 科目) 原稿を学務に提出 (10/29?)
11 月			・一覧情報をシラバス と台帳にフィードバ ック↓ ・開設授業科目一覧原 稿が切第 1 回 (11/26) ・履修要覧原稿が切第 1 回 (11/12)	・ウェブシラバス の更新↓		・科目台帳の更新↓ ・【昨年度】開設授業科目一 覧 (総合科目) 原稿を学務 に提出. 今年は KdB に入力 (期限いつか?) ・非常勤講師枠申請 (教職 科目 11/18?, 総合科目 11/26? 専門科目 & 外国人 11/29?)
12 月	・2 学期の TA 経費状 況チェック ・H24 年度 TA 申請書 提出***	・2 学期 GPA				・H24 年度 TA の Web 申請 準備 & 教員アナウンス***
1 月	・H24 年度 TA の Web 申請* (1/20?)	・卒研配属, H23 年度科目 台帳確認 (特に他学類科目 のデータ) ・「島山賞」用データ提供	・学群履修細則が切 (1/16)	・Web シラバス縮 切* (1/20?)		*同期する
2 月	・H24 年度 TA の最終 確認 (2/21?)	・学類長表彰選考 ・JABEE 判定予行	・授業科目表 KdB 入 力が切 (2/28) ・履修要覧最終が切 (2/20)			
3 月		・成績データ (数学担当者 検討会. 1 年担任: 進級判 定, 主専攻振分, 内定者選 抜. 2 年担任: 早期卒業候 補者選抜. **) ・JABEE 判定 (3/31?)	・(本部) 3/1 現在の KdB 内容により H25 開設授業科目一覧作 成 進級・卒業単位自主確 認表の作成	・冊子シラバス作 成		** 3 年担任: 卒研着手判定. 研究室配属最終決定, 推薦 入試該当者選抜・面談, 院 講義受講資格者選抜・希望 面談. 4 年担任: 卒業要件 最終判定

来年度新1年生に対する時間割(1年/2年/3年/4年次の新規必修科目は、それぞれ2013/14/15/16年度から順次実施)

1年	月	火	水	木	金	土	日	注
1	春A	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
2	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
3	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A
4	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B
5	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
6	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A
1	秋A	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
2	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
3	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A
4	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B
5	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
6	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A
1	春A	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
2	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
3	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A
4	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B
5	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
6	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A
1	秋A	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
2	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
3	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A
4	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B
5	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
6	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A
1	春A	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
2	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
3	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A
4	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B
5	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C
6	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A
1	秋A	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
2	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
3	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A
4	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B
5	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C
6	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A

既に在籍する学生に対する時間割(履修要覧に記載された必修科目は該当年度生がいなくなるまで下記のように開講)

1年 月	火	水	木	金	土	日
1	春A	春B	春C	春A	春B	春C
2	春A	春B	春C	春A	春B	春C
3	春A	春B	春C	春A	春B	春C
4	春A	春B	春C	春A	春B	春C
5	春A	春B	春C	春A	春B	春C
6	春A	春B	春C	春A	春B	春C
2年 月	火	水	木	金	土	日
1	春A	春B	春C	春A	春B	春C
2	春A	春B	春C	春A	春B	春C
3	春A	春B	春C	春A	春B	春C
4	春A	春B	春C	春A	春B	春C
5	春A	春B	春C	春A	春B	春C
6	春A	春B	春C	春A	春B	春C
3年 月	火	水	木	金	土	日
1	春A	春B	春C	春A	春B	春C
2	春A	春B	春C	春A	春B	春C
3	春A	春B	春C	春A	春B	春C
4	春A	春B	春C	春A	春B	春C
5	春A	春B	春C	春A	春B	春C
6	春A	春B	春C	春A	春B	春C

必修科目の再履修に関する参考資料(1年次および知的・機能用20120920版)

単位を落とした必修科目名	学年	学期/時限	次年次に再履修すべき科目	再履修により履修出来なくなる次年次の科目
123線形代数A	1	春ABC/水45	同科目	メカトロニクス材料概論
456線形代数A	1	春ABC/水45	同科目	メカトロニクス材料概論
123線形代数B	1	秋ABC/火12	同科目	機械設計
456線形代数B	1	秋ABC/火12	同科目	機械設計
123解析I	1	春AB/水1+春AB/金1	同科目	システム制御工学A/メカトロニクス機構学
456解析I	1	春AB/水1+春AB/金1	同科目	システム制御工学A/メカトロニクス機構学
123解析II	1	秋A/水12+秋BC/水1	同科目	応用数学
456解析II	1	秋A/水12+秋BC/水1	同科目	応用数学
123解析III	1	秋ABC/金1+秋C/水2	同科目	システム制御工学B
456解析III	1	秋ABC/金1+秋C/水2	同科目	システム制御工学B
123力学I	1	春AB/金34	同科目	論理回路
456力学I	1	春AB/木34	123力学I	論理回路
1-4力学II	1	秋AB/木45	56力学II	離散数学
56力学II	1	秋AB/水45	同科目	離散数学
123電磁気学II	1	秋BC/金34	同科目	計測工学/確率統計
456電磁気学II	1	秋BC/金34	同科目	計測工学/確率統計
123情報処理(講義)	1	春AB/月5	同科目	システム工学
456情報処理(講義)	1	春AB/水3	123情報処理(講義)	システム工学
123情報処理(実習)	1	春AB/火12	456情報処理(講義)	論理回路
456情報処理(実習)	1	春AB/金34	同科目	論理回路
123フレッシュマンセミナー	1	春AB/水3	456フレッシュマンセミナー	システム工学
456フレッシュマンセミナー	1	春AB/月5	同科目	システム工学
1-4物理実験	1	秋ABC/水3456	56物理学実験	知的/機能工学基礎実験B
56物理実験	1	秋ABC/木3456	同科目	知的/機能工学基礎実験B
工学システム原論I	1	春AB/木1	同科目	プログラミング序論I(必修)
工学システム原論II	1	秋AB/木1	同科目	プログラミング序論II(必修)
複素解析	2	春AB/火12	同科目	データ構造とアルゴリズム
電気回路	2	春BC/火34	同科目	ロボット工学
プログラミング序論I	2	春ABC/木12	同科目	ヒューマンインタフェース
プログラミング序論II	2	秋AB/木12	同科目	パターン認識
プログラミング序論III	2	秋C/木12	同科目	なし
知的/機能工学基礎実験A	2	春ABC/木345	同科目	3年時 春ABC/木午後の科目全て
知的/機能工学基礎実験B	2	秋ABC/木345	同科目	3年時 秋ABC/木午後の科目全て
知的/機能工学システム専門実験	3	通年/金345	同科目	留年
知的/機能工学システム応用実験	3	秋ABC/火56	同科目	留年
専門英語演習	3	春C/金2	同科目	4年時再履修
第一外国語	12	通年	同科目	
総合科目	12	通年	同科目	
体育	123	通年	同科目	
工学者のための倫理	34	春AB/月5	同科目	

環境開発工学専攻

1年	火	水	木	金
月	春A	春B	春C	春A
1	春A	春B	春C	春A
2	春A	春B	春C	春A
3	春A	春B	春C	春A
4	春A	春B	春C	春A
5	春A	春B	春C	春A
6	春A	春B	春C	春A

1年	火	水	木	金
月	秋A	秋B	秋C	秋A
1	秋A	秋B	秋C	秋A
2	秋A	秋B	秋C	秋A
3	秋A	秋B	秋C	秋A
4	秋A	秋B	秋C	秋A
5	秋A	秋B	秋C	秋A
6	秋A	秋B	秋C	秋A

2年

2年	火	水	木	金
月	春A	春B	春C	春A
1	春A	春B	春C	春A
2	春A	春B	春C	春A
3	春A	春B	春C	春A
4	春A	春B	春C	春A
5	春A	春B	春C	春A
6	春A	春B	春C	春A

2年	火	水	木	金
月	秋A	秋B	秋C	秋A
1	秋A	秋B	秋C	秋A
2	秋A	秋B	秋C	秋A
3	秋A	秋B	秋C	秋A
4	秋A	秋B	秋C	秋A
5	秋A	秋B	秋C	秋A
6	秋A	秋B	秋C	秋A

3年

3年	火	水	木	金
月	春A	春B	春C	春A
1	春A	春B	春C	春A
2	春A	春B	春C	春A
3	春A	春B	春C	春A
4	春A	春B	春C	春A
5	春A	春B	春C	春A
6	春A	春B	春C	春A

3年	火	水	木	金
月	秋A	秋B	秋C	秋A
1	秋A	秋B	秋C	秋A
2	秋A	秋B	秋C	秋A
3	秋A	秋B	秋C	秋A
4	秋A	秋B	秋C	秋A
5	秋A	秋B	秋C	秋A
6	秋A	秋B	秋C	秋A

1年		エネルギー工学専攻						2012/9/18							
月		火	水	木	金		火	水	木	金					
1	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C			
2	総合科目II	456数学序論	123情報処理(実習)	解析	工学システム原論I	工学システム原論II	解析II	解析III	1-4物理学実験	56物理学実験	56物理学実験	56物理学実験	123電磁気学I	456電磁気学I	復習数学II
3	第1外国語(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)
4	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語
5	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理	456情報処理
6	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I	研究書入門I
1	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C			
2	総合科目II	123線形代数B	456線形代数B	解析II	解析III	1-4物理学実験	56力学II	56物理学実験	56物理学実験	56物理学実験	56物理学実験	56物理学実験	123電磁気学I	456電磁気学I	復習数学II
3	第1外国語(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)	123情報処理(英語)
4	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語	初修外国語
5	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学	宇宙工学
6	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II
1	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C			
2	総合科目II	熱力学I	材料学I	材料学I	体育	材料学I	材料学I	材料学I	材料学I	材料学I	材料学I	材料学I	流体力学		
3	総合科目II	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	応用数学	材料力学I		
4	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	複素関数I	計算機序論		
5	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	確率統計	材料学II		
6	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	材料学II		
1	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C			
2	総合科目II	振動工学I	電気回路	数値計算法	計測工学	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II		
3	総合科目II	振動工学I	電気回路	数値計算法	計測工学	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II	材料力学II		
4	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学	総工学		
5	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論	量子力学序論		
6	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)	(宇宙工学)		
1	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C	春A	春B	春C			
2	総合科目II	パワーエレクトロニクス	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路	電子回路		
3	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II	機械設計II		
4	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育		
5	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理	工学者のための倫理		
6	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II		
1	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C	秋A	秋B	秋C			
2	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学	電力工学		
3	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論	地圏気圏の環境論		
4	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育		
5	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II		
6	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II	研究書入門II		

2012年9月21日, PDCA 委員会報告(武若)

平成24年度(2012年)度 PDCA 委員会報告

日時: 平成24年7月25日(水) 15:30-17:00

西岡・武若・坪内・丸山・星野聖・境・奥野・笠原・山下・澁谷・堀・葛岡

平成24年9月14日(金) 15:30-16:15

西岡・武若・坪内・丸山・星野聖・境・奥野・笠原・山下・澁谷・堀・葛岡

議題の報告(抜粋, 概要)

1. JABEE 受審時期

プログラム継続の受審: 最終有効年度の翌年度までに審査を受けて認定される必要がある。前倒しで受審することも可能。

現在のプログラム認定期限: 2015年3月31日(2014年度まで有効)

認定継続審査料: 125万円(税込 1,312,500円)/プログラム

認定維持料: 10万円(税込 105,000円)/プログラム/年

JABEE審査・認定ロードマップ(改訂版, 2012/07/25)

年度	Event	受審資料	学類長	カリキュラム委員長	PDCA 委員長	幹事
2008			阿部	堀	石田	川村 磯部
2009	【受審】 認定 第1年		阿部	堀	石田	川村 磯部
2010	認定 第2年		堀	西岡	葛岡	澁谷 境
2011	認定 第3年		堀	西岡	葛岡	澁谷 山下 境
2012	認定 第4年		西岡	坪内	武若	澁谷 山下 笠原
2013	認定 第5年	○	西岡	坪内	武若	笠原 ?
2014	認定 第6年	○				
2015	【受審】	○				

2. 高専編入生の単位認定について

現在の認定方法・手順等について議論を行った。改訂(案)を作成し、学類会議で確認をする。

3. 1・2・3年生の自己点検, 達成度自主確認を11月頃に実施予定。担任のご協力をお願い致します。

資料4

平成25年度(2013年度)卒業研究配属方法(案)

1. 教員1名あたりの卒研受け入れ希望人数の決定

- 原則として教授・准教授・講師は2名以上3名以下,助教は1名以上2名以下とする。(他学類担当教員は1名以上3名以下)
- 各教員が受け入れ人数を決め,クラス担任がその調査を行う。ただし,在外研究員などで来年度の期間のほとんどを不在にする場合には0名とする。
- 調査の結果,総募集人数が卒研配属対象学生を上回る場合には,特に募集定員の調整はしない。

2. 研究テーマ紹介資料の提出

卒研の受け入れ教員は,教員ポータルサイトより, 所定のフォーマットにて卒研配属情報を入力していただき,学類ホームページより3年生に情報を提示する。

3. 学生の主専攻分野の取扱いについて

- 卒研生の募集の際,その教員が受け入れたい主専攻の人数枠は明示せず,卒研配属に関する主専攻の垣根は取り払う。
- その教員の卒研に着手する際に, どうしても必要な講義科目の履修あるいはそれと同等の知識が必要な場合には,各教員の卒研配属情報入力ページに,「研究室配属に必要な履修科目・その他要件など」という項目があるので,ここに明記することで学生への情報提供を確実にする。(主専攻間の垣根を設けないとの原則に立ち,「この主専攻の学生を募集する」という書き方は避ける。) また,学生には,事前に各学生が興味をもつ研究室を見学することを義務づける。さらに,教員は,適宜自分の研究室の説明会を行うなどして,研究テーマの周知に努力されることを期待する。

4. 配属希望研究室の調査と決定

平成25年度(2013年度)に,卒研に着手する学生の配属希望研究室調査は次の方法で行う。

- (1) 3L308印刷室の壁に研究室名と募集人数を明記した欄を書いた用紙およびGPA速報値一覧を(2013年1月7日(月))に掲示する。学生はこの用紙の希望研究室の欄に自分の名前を記入する締切日開までは何度書き直してもよい。2013年1月15(火)日正午を締切りとし,直ちに希望の集計を行う。
- (2) この第1回の希望調査で募集人数以内の希望者で埋まった教員(研究室)はその希望

者で決定。募集人数以上の希望者があった教員(研究室)については、2013年1月21日(月)までに受け入れ教員がGPAの順位あるいは面談などに基づいて配属者を決定する。GPAが下位の学生を選んだ場合には、その理由を書面にて学類長に提出する。

(3) 第1回の希望調査で希望研究室に配属されなかった学生は、2回目の希望調査を行う。この時点で、(未配属の学生数÷受け入れ枠を満たしていない研究室の数)≤2の場合には、受け入れ枠を満たしていない研究室の第2次調査での配属は最大2名までとする。募集人数に空きのある研究室を対象として、第1回の希望調査と同様に配属研究室を決める。ただし、研究室の受け入れ条件(特定科目の履修)と卒研受け入れ人数を変更することは可能とする。その際、第2回希望調査においてその旨を明記する。希望調査用紙の掲示は 2013年1月22日(火)、記入締切りは 2013年1月25日(金)正午とする。この第2回の希望調査で募集人数以内の希望者で埋まった教員(研究室)はその希望者で決定。募集人数以上の希望者があった教員(研究室)は、2013年1月29日(火)までに受け入れ教員がGPAの順位あるいは面接などに基づいて配属者を決定する。GPAが下位の学生を選んだ場合には、その理由を書面にて学類長に提出する。これで決定しなかった者は、その時点で空き定員のある研究室に配属されるが、クラス担任と相談の上決定する。

5.日程

平成24年(2012年)

- 9月の教員会議 配属方法の具体的な内容と説明,および承認.
- 11月上旬 教員側受け入れ人数および「研究内容紹介」原稿提出.
- 11月12日(月)6時限目 卒研配属説明会 (場所 知的・機能3B402, 環境・IT 3B405)
- 12月 各研究室説明会および研究室見学期間

平成25年(2013年)

- 1月7日(月) 第1回希望調査票掲示.
- 1月15日(火) 正午希望調査締切
- 1月21日(月) 第1回調査で受け入れ人数を超過した研究室の受け入れ学生決定.
- 1月22日(火) 第2回希望調査票掲示.
- 1月25日(金) 正午希望調査締切
- 1月29日(火) 第2回調査で受け入れ人数を超過した研究室の受け入れ学生決定.
- 2月初旬 最終配属決定

資料5

学籍異動について

【新規の異動】（承認事項）

休学	H24.10.1～H25.3.31	1名
休学	H24.11.1～H25.9.30	1名

【参考】

1学期末卒業	H24.7.25	1名
2学期入学	H24.8.1	1名

平成24年9月1日現在

学年	人数	現在の状況
第1学年	158名	休学 3名
第2学年	142名	休学 0名
第3学年	149名	休学 0名
第4学年	153名	休学 3名
計	602名	休学 6名

2012/9/21

工学システム学類ホームページについて

学類パンフレット・広報 WG

1. 学類ホームページ（ウェブサーバ）の移転について

理工学群において、学群のウェブサーバを学情センターのレンタルサーバへ移転するという話が進められている。これに伴い、学群広報委員会より、各学類のホームページも同レンタルサーバに移転を希望するかどうか調査があった。この移転をした場合、メリットが多数あり（下記）、かつ特に不利益が見当たらないため、エシスホームページに関しても移転を希望する旨を回答している。

＜移転のメリット＞

- ・サーバの保守を学情センターに任せられる。
- ・WordPress 等により、ウェブ経由でホームページの編集が行えるようになる。
- ・バーチャルドメインサービスにより、従来の URL がそのまま使用できる。
- ・サーバレンタル費用は理工学群が支払うため、学類に直接の経費は発生しない。

2. 学類ホームページのリニューアルについて

現在の学類ホームページは、ここ 10 年ほど変更されていない。高校生・受験生への訴求力を高める狙いから、上述した移転を機に、ホームページのリニューアルをしてはどうか。ワイドモニター向けデザインや、スタイルシートの導入などを行うとともに、WordPress によるウェブ経由での編集を可能にすることで、デザイン性・機能性を新たにする。



ホームページのリニューアル例

資料7

平成24年度 第2学期推薦入試実施状況

平成24年7月24日
筑波大学

学群・学類		募集 人員 人	志願 者数 人	受験 者数 人	欠席 者数 人	合格 者数 人	不合格 者数 人	入学 辞退 者数 人	入学 者数 人
人文・文化 学群	人文学類	若干名	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0
	比較文化学類	若干名	(1) 2	(1) 2	(0) 0	(0) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 1
	日本語・ 日本文学類	若干名	(2) 2	(2) 2	(0) 0	(0) 0	(2) 2	(0) 0	(0) 0
	計		(4) 5	(4) 5	(0) 0	(0) 1	(4) 4	(0) 0	(0) 1
	社会・国際 学群	社会学類	若干名	(1) 3	(1) 3	(0) 0	(1) 1	(0) 2	(0) 0
国際総合学類	若干名	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 0
計		(2) 4	(2) 4	(0) 0	(1) 1	(1) 3	(0) 1	(0) 0	(1) 1
人間 学群	教育学類	若干名	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0
	心理学類	若干名	(3) 4	(3) 4	(0) 0	(0) 0	(3) 4	(0) 0	(0) 0
	障害科学類	若干名	(1) 1	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
	計		(5) 6	(4) 5	(1) 1	(0) 0	(4) 5	(0) 0	(0) 0
生命 環境 学群	生物学類	若干名	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0
	生物資源学類	若干名	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0
	地球学類	若干名	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 0
	計		(2) 3	(2) 3	(0) 0	(0) 0	(2) 3	(0) 0	(0) 0
理工 学群	数学類	若干名	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
	物理学類	若干名	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
	化学類	若干名	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
	応用理工学類	若干名	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 0
	工学シブA学類	若干名	(0) 3	(0) 3	(0) 0	(0) 1	(0) 2	(0) 0	(0) 1
	社会工学類	若干名	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0
	計		(1) 5	(1) 5	(0) 0	(0) 1	(1) 4	(0) 0	(0) 1
情報 学群	情報科学類	若干名	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
	情報学 17 創成学類								
	知識情報・ 図書館学類	若干名	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
計		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	
医学 群	医学類								
	看護学類								
	医療科学類								
	計								
体育専門学群									
芸術専門学群									
合 計		(14) 23	(13) 22	(1) 1	(1) 3	(12) 19	(0) 0	(1) 3	
前年度合計		(21) 33	(19) 30	(2) 3	(9) 12	(10) 18	(0) 0	(9) 12	

(注) ()内は、女子を内数で示す。

平成25年度 学群編入学試験実施状況

平成24年9月5日
筑波大学

学群・学類		募集 人員	志願 者数	受験 者数	欠席 者数	合格 者数	追加 合格 者数	不合格 者数	最終 合格 者数	入学 辞退 者数	入学 者数
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
人文・文化学群	人文学類										
	比較文化学類										
	日本語・ 日本文化学類										
	計										
社会・国際学群	社会学類										
	国際総合学類										
	計										
人間学群	教育学類										
	心理学類										
	障害科学類										
	計										
生命環境学群	生物学類	若干名	(2) 9	(1) 8	(1) 1	(0) 4		(1) 4	(0) 4	(0) 1	(0) 3
	生物資源学類	10	(11) 32	(10) 28	(1) 4	(5) 10		(5) 18	(5) 10	(2) 3	(3) 7
	地球学類	若干名	(2) 7	(0) 4	(2) 3	(0) 1		(0) 3	(0) 1	(0) 0	(0) 1
	計		(15) 48	(11) 40	(4) 8	(5) 15		(6) 25	(5) 15	(2) 4	(3) 11
	工学学群	数学類	若干名	(0) 8	(0) 7	(0) 1	(0) 1		(0) 6	(0) 1	(0) 1
物理学類	若干名	(0) 16	(0) 12	(0) 4	(0) 2		(0) 10	(0) 2	(0) 2	(0) 0	
化学類	若干名	(6) 21	(4) 18	(2) 3	(0) 1		(4) 17	(0) 1	(0) 0	(0) 1	
応用理工学類	10	(4) 55	(4) 48	(0) 7	(2) 19		(2) 29	(2) 19	(0) 7	(2) 12	
工学システム学類	若干名	(2) 89	(2) 76	(0) 13	(0) 11		(2) 65	(0) 11	(0) 4	(0) 7	
社会工学類	若干名	(3) 30	(2) 22	(1) 8	(0) 1		(2) 21	(0) 1	(0) 0	(0) 1	
計		(15) 219	(12) 183	(3) 36	(2) 35		(10) 148	(2) 35	(0) 14	(2) 21	
情報学群	情報科学類 (単願)		(0) 27	(0) 24	(0) 3	(0) 9		(0) 15	(0) 9	(0) 2	(0) 7
	情報科学類 (併願 第1志望)		(4) 58	(4) 54	(0) 4	(0) 15		(3) 34	(0) 15	(0) 3	(0) 12
	情報科学類 (併願 第2志望)	10				(0) 0			(0) 0	(0) 0	(0) 0
	情報メディア創成学類 (単願)		(3) 32	(3) 27	(0) 5	(2) 9		(1) 18	(2) 9	(1) 1	(1) 8
	情報メディア創成学類 (併願 第1志望)		(1) 8	(1) 6	(0) 2	(0) 3		(1) 3	(0) 3	(0) 0	(0) 3
	情報メディア創成学類 (併願 第2志望)	10				(1) 5			(1) 5	(0) 0	(1) 5
	知識情報・図書館学類	10	(16) 34	(14) 31	(2) 3	(7) 14		(7) 17	(7) 14	(0) 0	(7) 14
	計		(24) 159	(22) 142	(2) 17	(10) 55		(12) 87	(10) 55	(1) 6	(9) 49
医学群	医学類	5	(57) 182	(42) 148	(15) 34	(1) 8		(41) 140	(1) 8	(1) 1	(0) 7
	看護学類	10	(37) 37	(37) 37	(0) 0	(10) 10		(27) 27	(10) 10	(0) 0	(10) 10
	医療科学類										
	計		(94) 219	(79) 185	(15) 34	(11) 18		(68) 167	(11) 18	(1) 1	(10) 17
体育専門学群											
芸術専門学群											
合 計		(148) 645	(124) 550	(24) 95	(28) 123		(96) 427	(28) 123	(4) 25	(24) 98	
前年度合計		(148) 632	(133) 554	(15) 78	(24) 124	(4) 4	(105) 426	(28) 128	(5) 24	(23) 104	

(注) ()内は、女子を内数で示す。

平成25年度 アドミッションセンター入試（第1期）実施状況

平成24年9月10日

学群・学類	入学定員人	募集員人	志願者数人	志願率倍	第1次選考		第2次選考			最終合格者数	#	入学辞退者数人	入学者数人
					合格者数人	不合格者数人	受験者数人	欠席者数人	不合格者数人				
人文・文化学群	人文学類	120	5	(4) 16	3.2	()	()	()	()	()	()	()	()
	比較文化学類	80	5	(11) 13	2.6	()	()	()	()	()	()	()	()
	日本語・ 日本文化学類	40	3	(9) 12	4.0	()	()	()	()	()	()	()	()
	計	240	13	(24) 41	3.2	()	()	()	()	()	()	()	()
社会・国際学群	社会学類	80											
	国際総合学類	80											
	計	160											
人間学群	教育学類	35											
	心理学類	50											
	障害科学類	35											
	計	120											
生命環境学群	生物学類	80	3	(9) 15	5.0	()	()	()	()	()	()	()	()
	生物資源学類	120	4	(10) 21	5.3	()	()	()	()	()	()	()	()
	地球学類	50	3	(7) 9	3.0	()	()	()	()	()	()	()	()
	計	250	10	(26) 45	4.5	()	()	()	()	()	()	()	()
理工学群	数学類	40	2	(0) 4	2.0	()	()	()	()	()	()	()	()
	物理学類	60	2	(2) 8	4.0	()	()	()	()	()	()	()	()
	化学類	50	2	(2) 5	2.5	()	()	()	()	()	()	()	()
	応用理工学類	120											
	工学応用学類	130	10	(2) 24	2.4	()	()	()	()	()	()	()	()
	社会工学類	120	5	(2) 11	2.2	()	()	()	()	()	()	()	()
	計	520	21	(8) 52	2.5	()	()	()	()	()	()	()	()
情報学群	情報科学類	80	8	(0) 19	2.4	()	()	()	()	()	()	()	()
	情報応用 創成学類	50	4	(3) 11	2.8	()	()	()	()	()	()	()	()
	知識情報・ 図書館学類	100	5	(15) 24	4.8	()	()	()	()	()	()	()	()
	計	230	17	(18) 54	3.2	()	()	()	()	()	()	()	()
医学群	医学類	110											
	看護学類	70											
	医療科学類	37											
	計	215											
体育専門学群	240	8	(46) 105	13.1	()	()	()	()	()	()	()	()	
芸術専門学群	100	5	(51) 65	13.0	()	()	()	()	()	()	()	()	
合 計	2,077	74	(173) 362	4.9	()	()	()	()	()	()	()	()	
前年度合計	2,075	81	(133) 289	3.6	(48) 101	(85) 188	(48) 100	(0) 1	(19) 44	(29) 56	(1) 2	(28) 54	

(注) ()内は、女子を内数で示す。

平成24年度 2学期入学者向け オリエンテーションおよび補講 実施報告

月日	時間			備考
8月10日(金)	9:00~12:30	学類オリエンテーション		教室:3L207
		学類&主専攻紹介(西岡)		
		カリキュラム説明(坪内)		
		計算機実習(延原)		教室:3L504
16日(木)	9:00~17:00	力学序論(松田昭)		学内一斉休業期間中の特別措置。 教室:3B406(個別冷房)
17日(金)	9:00~17:00	力学序論(松田昭)		
20日(月)	9:00~12:00	線形代数序論(鈴木弘)		線形代数序論は学群開設の数学再教育プログラム科目「線形代数基礎」を兼ねる。
	13:00~15:00	線形代数序論演習(鈴木弘+TA)		
21日(火)	9:00~12:00	線形代数序論(鈴木弘)	第2外国語集中授業	
	13:00~15:00	線形代数序論演習(鈴木弘+TA)		
22日(水)	9:00~12:00	線形代数序論(鈴木弘)	第2外国語集中授業	
	13:00~15:00	線形代数序論演習(鈴木弘+TA)		
23日(木)			第2外国語集中授業	※第2外国語は受講不可能。
24日(金)			第2外国語集中授業	
27日(月)		2学期入学式		(大会館)
		キャリア支援室オリエンテーション		(大会館)
		健康診断		外国語センター、保健管理センター
28日(火)	9:00~12:00	解析学序論(河合)		
		英語プレイスメントテスト		(外国語センター)
		TWINS利用説明会		(学術情報メディアセンター)
		体育ガイダンス		(5C棟)
	17:00~19:00	解析学序論演習(河井)		13:00~15:00の解析学演習の代替
29日(水)	9:00~12:00	解析学序論(河合)		解析学序論は学群開設の数学再教育プログラム科目「解析学(微積分)基礎」を兼ねる。
	13:00~15:00	解析学序論演習(河合+TA)		
30日(木)	9:00~12:00	解析学序論(河合)		
	13:00~15:00	解析学序論演習(河合+TA)		
31日(金)				

資料9

平成24年度日韓共同理工系学部留学生プログラム 第2次第3期生ワーキンググループ議事次第

1 日時：平成24年9月11日（火）16：30～

2 場所：第5会議室（大学会館3階）

3 議題：

【審議】

- (1)平成24年度日韓共同理工系学部留学生（第2次第3期生）の受入れについて
- (2)予備教育に係る専門科目担当教員について
- (3)日韓生の兵役休学について
- (4)その他

【報告】

- (1)平成23年度日韓共同理工系学部留学生（第2次第2期生）予備教育プログラムについて
- (2)平成24年度日韓共同理工系学部留学生事業協議会について
- (3)平成24年度第2次第4期生を対象とした日韓プログラム推進フェアについて
- (4)日韓共同理工系学部留学生の修学状況について
- (5)日韓共同理工系学部留学生の卒業後の進路について

4 配付資料

- (1)平成24年度日韓共同理工系学部留学生（第2次第3期生）の受入れについて（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
- (2)日韓共同理工系学部留学生（第2次第3期生）予備教育に係る専門科目担当教員の選出について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2
- (3)日韓共同理工系学部留学生の兵役休学の取扱いについて・・・・・・・・・・・・・資料3
- (4)日韓共同理工系学部留学生（第2次第4期生）受入可能数等調査（兵役に係る休学制度の導入状況について）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4
- (5)平成23年度日韓共同理工系学部留学生（第2次第2期生）予備教育プログラム報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5
- (6)2012年度日韓共同理工系学部留学生事業協議会資料（抜粋）・・・・・・・・・・・・・資料6
- (7)第2次第4期生を対象とした日韓プログラム推進フェアについて・・・・・・・・・・・・・資料7
- (8)平成24年度在籍日韓共同理工系学部留学生の修学状況一覧・・・・・・・・・・・・・資料8
- (9)日韓共同理工系学部留学生（第1期～第8期生）の卒業後の進路・・・・・・・・・・・・・資料9
- (10)平成24年度日韓共同理工系学部留学生プログラム第2次第3期生WG名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料

(別紙)

日韓共同理工系学部留学生（第2次第3期生）予備教育に係る
専門科目分担表

1. 予備教育実施期間：平成24年10月17日 ～ 平成25年2月27日
2. 専門科目授業日時：水曜6時限
3. 開設状況：

学期	期日	学類	担当教員
(2学期)	10月17日	応理	
	10月24日	応理	
	10月31日	工シス	松島准教授
	11月7日	数学	
	11月14日	応理	
(3学期)	12月12日	応理	
	12月19日	工シス	遠藤准教授
	1月9日	情報科学	
	1月23日	応理	
	1月30日	応理	
	2月6日	工シス	西岡教授
	2月13日	数学	
	2月20日	情報科学	
	2月27日	工シス	藤野准教授

資料 10

[別紙様式]

「平成 24 年度 受験生のための筑波大学説明会」の実施内容等

学群・学類名 [理工学群・工学システム学類]

開催期日	説明会場	参加者受入可能人数 (付添者を除く。)
8月 1日 (水)	3A204, 3A402, 3A403	600 人

時刻	実施内容 (簡潔に記入し、詳細は各教育組織のホームページ等で周知してください。 また、見学等でバスの使用がある場合は、併せて記入願います。)	
9:00	参加者受付開始～10:00	
	3A204 会場 (300 人)	3A402, 3A403 会場 (300 人)* (3A204 会場より 15 分遅れで進行)
9:50	9:50～ 全体説明	10:05～ 全体説明
10:00	9:55～ 学類長挨拶 10:05～ 主専攻説明 (知的機能) 10:20～ 主専攻説明 (環境エネ) 10:35～ 受験情報 10:45～ 学生活動紹介	10:10～ 学類長挨拶 10:20～ 主専攻説明 (知的機能) 10:35～ 主専攻説明 (環境エネ) 10:50～ 受験情報
11:00	11:10～ 質疑応答 11:20～ 昼食	11:00～ 学生活動紹介 11:25～ 質疑応答 11:35～ 昼食
12:00	12:30～ 模擬講義	
13:00		12:40～ コース別研究室見学 (15 名×20 グループ) 1 グループで 2 研究室を見学
14:00	13:40～ コース別研究室見学 (15 名×20 グループ) 1 グループで 2 研究室を見学	(3A204 へ移動) 13:50～ 模擬講義
		* 3A402 の音声映像を 3A403 に配信
15:00	14:50～ 自由見学 L 棟計算機室・図書館・宿舎 (宿舎見学にバスを利用します) 対応研究室	
16:00		
16:30	説明会終了	

平成24年度受験生のための筑波大学説明会 理工学群工学システム学類 コース別研究室見学システム学類 一覧
 日時: 8/1(水) 12:40~14:40(1研究室1班25分×4班)

班 先一後	研究室名	教員	テーマ名	場所	自由 見学	実験室内線	研究室内線
1 ¹	知的制御システム研究室	安信誠二	人間の知意をコンピュータに組み込んだ制御を知らう	3M409	○	6186	5019
2 ¹	ヒューマン・ロボット・インタラクション研究室	中内靖	省エネルギーと人を見守る空間知能化技術	3M308	○	8263	5131
3	通信システム研究室	海老原格	音波にのせてデータを伝えよう	3G203	○	7891	6473
4	エネルギーリサイクル研究室/新エネルギーシステム研究室	内山洋司・岡島敬一	地球環境問題とエネルギーシステム	総B726	○	5134	6194・5756
5	視覚メディア研究室	掛谷英紀	飛び出す立体ディスプレイ	3G214	○	5381	5255
6	渡部研究室	渡部修	高温破壊の仕組みを探る	理C302	○	6913	5029
7	音響システム研究室(水谷)	水谷孝一	反響のない不思議な世界を体験しよう、ほか	VBL102	○	5675	6474
8	計算・構造工学研究室	磯部大吾郎	建物の崩壊シミュレーション、ロボット機構のトルクキャンセリングシステムの公開	3E103	○	5387	6191
9	デジタル制御研究室	堀憲之	デジタル制御は緑の下の力持ち	3L103	○	6160	6030
10	先端複合材料工学研究室	河井昌道	陸・海・空・宇宙・未来に広がるCFRP先端技術!	理D105	×	7354	5353
11	柔軟ロボット学研究室	望山洋	やわらかいロボット・触覚テクノロジー	3L403-1	○	7923	6472
12	情報理論研究室	古賀弘樹	大切な情報を守ろう! - 視覚暗号・電子透かし -	3M210	○	6184	6476
13	バーチャリアリティ研究室	岩田洋夫・矢野博明	計算機内のバーチャルな物体に手や足を使得って触れてみよう	3L407-1	○	5120	5362・5062
14	建築構造研究室	金久保利之・八十島章	建築物の高性能化と長寿命化	3H101	○	5480	5045・5257
15	生体情報処理研究室	森田昌彦	脳に学ぶ情報処理	3M209	○	6554	5321
16	地震防災・構造動力学研究室	境有紀	地震の揺れと被害の関係	3H101	○	5480	5056
17	身体運動学研究室	長谷川泰久	上肢支援システムを体験してみよう	3L401-2	○	6398	5259
18	熱流体制御・計測研究室	阿部豊・金子暁子	熱と流れを自在に操る	3H106	○	5763・5487	4968・5266
19	非線形数理工学研究室	金野秀敏	らせんの不思議と非線形のなぞを体験しよう	総B814	×	6938	5016
20	筑波大学ネットワーク衛星「結」プロジェクト	亀田敏弘	筑波大学発小型人工衛星「結」について	総B1228	○	5114	5114
21	機械知能研究室	澁谷長史	コンピュータを餌付けて学習させてみよう	3E306	○	5428	6788
22	災害リスク工学研究室	庄同学	ライフラインの地震・津波に対する信頼性	理D501	○	7368	6190
23	自然言語処理研究室	宇津呂武仁	音声で二足歩行ロボットを操作しよう	3E305	○	5427	5427
24	構原研究室	構原潤	流れの可強化(円管内流れ、眼球内流れ、エアカーテン等)	3D114-1	○	5058	6189
25	人間情報処理研究室	鬼沢武久	ヒトの気持ちを理解するコンピュータを体験しよう	3M411	○	6188	5060
26	音響システム研究室(若槻)	若槻尚斗	音楽器を吹く機械、ほか	3G224	○	6480	5340

自由見学時間は14:50~16:30

模擬講義(3A204):

12:30~13:00(A班) 武者隆 「リモートセンシングで眺める日本の国土」

13:00~13:30(A班) 星野聖 「機械と数学による生体理解」

13:30~14:20(B班) 北原格 「複合現実感: 現実と仮想の融合」

14:20~14:50(B班) 花田信子 「環境調和型エネルギーシステムをデザインする」

A**班: 3A204集合参加者

B**班: 3A402,403集合参加者

+ : 聴覚障害参加者予定(A班)

: 運動障害参加者予定(A班)

3A209 保護者控え室(3A204用)

3A416 保護者控え室(3A402,3A403用)

3A207 TA控え室

3A415 TA控え室

『平成24年度 受験生のための筑波大学説明会』アンケート集計結果

【理工学群工学システム学類】

I 参加申込者	596
参加者	576
回答者	440

(人)

II 高校等所在都道府県名

北海道	6	青森	6	岩手	6	宮城	6
秋田	1	山形	0	福島	13	茨城	135
栃木	69	群馬	10	埼玉	33	千葉	21
東京	23	神奈川	8	新潟	20	富山	1
石川	1	福井	1	山梨	7	長野	10
岐阜	2	静岡	20	愛知	4	三重	3
滋賀	2	京都	5	大阪	4	兵庫	2
奈良	3	和歌山	0	鳥取	0	島根	0
岡山	1	広島	0	山口	0	徳島	1
香川	1	愛媛	2	高知	1	福岡	3
佐賀	0	長崎	0	熊本	1	大分	0
宮崎	1	鹿児島	2	沖縄	2	外国	2
						その他	1

(人)

III 学年等

1	1年	75
2	2年	239
3	3年	113
4	既卒	11
5	その他	2

(人)

IV 性別

1	男	395
2	女	45

(人)

V 説明会を何で知りましたか。

1	学校	191
2	雑誌	4
3	筑波大学HP	241
4	携帯電話以外	3
5	その他	16

(人)

VI 説明会に参加した動機は何ですか。

1	受験するつもりだから	142
2	受験するかどうか参考にしたいから	191
3	キャンパスを見学したかったから	151
4	親に勧められたから	23
5	先生に勧められたから	18
6	友人に誘われたから	23
7	その他	10

(人)

VII 説明会に参加しての感想はいかがですか。

1	非常に参考になった	189
2	参考になった	237
3	どちらとも言えない	17
4	参考にならなかった	1
5	その他	1

(人)

VIII 説明会を通して何が最も参考になりましたか。

1	学類・専攻等の具体的内容	252
2	教育課程	21
3	入学試験	13
4	学生生活	105
5	卒業後の進路	9
6	在学生の体験談	57
7	学生宿舎等施設見学	19
8	その他	7

(人)

IX 本日の説明内容以外で説明してほしかった事項がありますか。

また、その他、ご意見、ご希望等がありましたらお聞かせください。

【説明してほしかったこと】

もっと在学生の体験談が聞きたかった。

自分の聴きたいものがきけたらよかった。

食事ができるところがわからなかった。1Fにあるということも教えていただけるとありがたい。

地図がもっと詳しくしてほしい。

もっとサークルについて説明してほしかった。

宿舎に泊まっている人はバイトをしているかどうか。

サークルの紹介等を見てみたかった。

宿舎以外のアパートの家賃

当日の流れは全員に配るべきだと思う。

将来自分がしたい研究をするために、具体的に何をすればいいのか。

留学制度

【意見、要望等】

大学の自由見学時間をもう少し増やしてほしい。

建築の3Dプリントをつぶす実験がおもしろかったです。バーチャルリアリティー教室はすごいと思いました。

研究室を3～4個まわりたいかった。

面白かったです。ありがとうございました。

講義についていけませんでした。

興味関心のある専攻ごとにグループ分けしていただけるとありがたいです。

各学部やサークルの研究や活動の成果を見たり、体験をしたい。(それぞれの学生の呼び込みで行いやすく。)

とても参考になりました。来てよかったです。ありがとうございました。来年絶対入学します。

あまり期待していなかったのですが、意外と話がおもしろかったです。

非常にわかりやすく、参考になりました。

団体でまともまわってみて回るより、個人でバラバラになって回りたい。

ありがとうございました。

宅通で通うのは大変そうなので、少し筑波を受験するのにためらっている。

会場が広がったせいか声が聞こえにくかった。

施設見学が楽しかったです。

スクリーンで写真をうつして説明してくれるところがとてもよかった。

特にありません。未来の選択肢が増えた一日でした。

説明がていねいだったので、大学の内容がわかりやすかったです。

今回参加してよかったです。来年お世話になると思うのでよろしくお願いします。

先生方のお話とてもおもしろかったです。これからもハトとして生きていきます。昨日から移動続きで疲れていて、地元が筑波以上の陸の孤島なので時々寝てしまいました。ごめんなさい。

筑波大学の取り組みなどがわかり、良かったです。

楽しかったです。ありがとうございました。

とても参考になりました。筑波大学の魅力が全面に出てよかったです。

それぞれの専攻の詳しい説明が聞けて良かったです。また、大学生の方々の学校生活なども聞けて参考になりました。

とても参考になりました。ありがとうございました。

プロジェクターでの説明で、見えづらかったのもう少し暗くしてほしかったです。

予約方法がわかりにくいと感じました。

おもしろい授業ありがとうございました。続きが気になるのはよいモチベーションになります。

研究室見学の時間を増やしてほしかった。

十分です。

模擬授業は端の方にいたが、声がよく聞こえなくて先生の方が何を言っているのか聞き取れないところがあった。

実演を見たいと思った。

有意義な一日でした。

研究室の見学がおもしろかった。

雰囲気を感じることができておもしろかった。

もっと自由見学時間を確保してほしかった。公式ホームページで見学できる研究室などについてもっと詳しく載せてもらいたかった。

資料 11

平成 24 年 9 月 21 日

「高校生のための楽しい工学システム体験セミナー」実施報告

世話人： 矢野

以下の要領にて「高校生のための楽しい工学システム体験セミナー」を実施した。

実施日：平成 24 年 7 月 31 日

実施場所：3L202 に集合 → テーマ毎に、以下の各実験室へ移動

実施テーマ：(カッコ内は担当教員)：

テーマ 1：「メカトロニクス—コンピュータで遠くの人に動作を伝えてみよう」(矢野) (3L504)

テーマ 2：「最先端スポーツ材料について学ぼう」(松田(昭)先生) (3F224)

受講人数：46 名

テーマ 1：33 名 欠席 3 名

テーマ 2：13 名 欠席 4 名

予算及び決算：平成 24 年度教育支援重点経費 (高大連携経費)

補助員等人件費：157,440 円 消耗品費等相当分：101,560 円 合計 259,000 円

+16,400 円超過(追加人件費)

■アンケート集計結果

◆工学システム学類の「体験セミナーに参加しようと思った動機」、参加前に「体験セミナーにどんな期待を持っていたか」書いてください。

「工学系の雰囲気を知りたかったから」、「工学システム学類ではどのような実験をしているのか興味があったから」、「将来研究したいことと合致していたから」、「機械をプログラムで動かしてみたかった」、「工学的な視点からスポーツを見るとどう見えるのか知りたかった」、「進路選択のきっかけとなる」など (※一部抜粋)

◆今日の体験セミナーは面白かったですか？

とても面白かった… (32) まあまあ面白かった… (13) どちらとも言えない… (1)

あまり面白くなかった… (0) とてもつまらなかった… (0)

◆受講したテーマに関する説明はわかりやすかったですか？

とてもわかりやすかった… (21) だいたいわかった… (23) どちらとも言えない… (2)

あまりよくわからなかった… (0) 全くわからなかった… (0)

◆工学システム学類にどの程度興味が持てましたか？

是非入学して学習したい… (17) 志望の候補に入れる… (28) わからない… (1)
あまり興味がもてない… (0) 興味がわからない… (0)

◆この体験セミナーの開催をどのように知りましたか？（複数回答可）

先生…(11), 友達…(7), 先輩…(0), 親…(7), エシスのホームページ…(19),
体験セミナーのパンフレット…(2), その他…(0) , 未記入 …(0)

◆感想、質問などがあればご自由にお書きください。（※一部抜粋）

- ・ とても良い経験が出来た。今までで最も楽しく、面白く興味がそそられる実験だった。
- ・ 非常に楽しかったので、今後も続けてください。
- ・ 筑波大に合格できるよう勉強します。
- ・ 普段学校で学んでいることが形を少し変えて実際に使用されていることを知り、より興味を持てた。エンジニアに必要となってくるのは何か、などお面白い話もしていただいて今までよりもっと技術者になりたいと思った。TAの皆さんも質問に丁寧に答えてくれたのは良かった。
- ・ 今まで触れたことのないような測定器を使っての実験は大変貴重な体験となりました。
- ・ 大学の雰囲気を知ることができてよかった。
- ・ プログラムを見たりする経験はあまりなかったので面白かった。
- ・ 将来医療福祉に役立つものづくりを仕事にしたいと思っているので、今日の体験はとてもためになりました。
- ・ 自分の手でプログラミングを実際に体験できて楽しかった。大学での研究活動への興味が更にわきました。
- ・ 大学院生の先輩方の熱心な発表がとても印象に残りました。メカトロニクスの面白さが伝わりいい経験になりました。
- ・ TAの皆さんがとても親切で楽しくセミナーを受けることが出来ました。音響に興味があっただけですが、機械工学にも興味を持ちました。
- ・ とても楽しかったです。絶対入るので待っていて下さい。

以上

資料12

平成24年度 第4回学群教育会議議事次第

- 1 日時 平成24年7月17日(火) 15:10～
- 2 場所 本部棟 5階 大会議室
- 3 議事

【審議事項】

- (1) GPAの取扱いについて
- (2) 平成25年度転学群・転学類の実施日程について
- (3) 平成25年度学群英語コース入試入学者選抜要項について
- (4) その他

【報告事項】

- (1) 学期制の見直しについて
 - (2) 2学期制への移行に伴う外国語時間割編成基本方針について
 - (3) 教養教育の再構築について
 - (4) 医学群医療科学類国際医療科学主専攻の再編について
 - (5) 平成24年度の本学のeラーニング推進について
 - (6) G30学群英語プログラムについて
 - (7) 平成24年度TOEFL-ITPの実施結果について
 - (8) 大学説明会参加申込状況について
 - (9) 平成24年度アドミッションセンター入試(第Ⅱ期)実施結果について
 - (10) 読売新聞「大学の實力」アンケート調査について
 - (11) 短期留学生向け日本語科目の提供について
 - (12) 筑波大学留学生後援会について
 - (13) 学生表彰について
 - (14) 試験において不正行為を行った場合の懲戒処分の基準等に関する申合せの改正について
 - (15) 学生生活実態調査の実施について
 - (16) 平成24年度国家公務員採用総合職試験結果について
 - (17) 学生の事件・事故について(6月分)
 - (18) 平成24年度(第15回)ホームカミングデーの実施について
 - (19) 平成24年度筑波大学防災訓練実施要項について
 - (20) 学生による全学的授業評価について
 - (21) その他
- ① 給与減額支給に係る予算の節減について

【配布資料】

- (1) 平成25年度入学者選抜要項
- (2) Course Catalogue and Syllabi 2012
- (3) Registration Guidebook 2012

次回学群教育会議開催日程：平成24年9月18日(火) 15時10分～

筑波大学 GPA 制度に係わる実施要項（学群）（案）

（目的）

第1条 この要項は、筑波大学（以下「本学」という。）におけるグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という。）を算出する制度を定めることにより、学生の学習意欲を高めるとともに、筑波スタンダードが掲げる教育の質の保証について一層の具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的とする。

（評価及びGP）

第2条 学群学則第35条及び筑波大学学群試験実施要項に定める成績の評語、及びグレード・ポイント（各評価に与えられる数値（評価点）。以下「GP」という。）は、次表のとおりとする。

評語	GP (評価点)	評価基準	参考（100点満点での目安）
A+	4	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	90点以上
A	3	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	80～89点
B	2	到達目標を達成している	70～79点
C	1	到達目標を最低限達成している	60～69点
D	0	到達目標を達成していない	60点未満
P	対象外	定められた学修水準に到達している	—
F	対象外	定められた学修水準に到達していない	—

（GPAの種類と算出方法）

第3条 当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA（以下「学期GPA」という。）並びに在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA（以下「累積GPA」という。）の2種類とする。

2 学期GPA及び累積GPAの計算式は、次の各号の定めるところによるものとし、算出された数値の小数点第3位以下は切り捨てるものとする。

(1) 学期GPAの計算式

$$\text{学期GPA} = \frac{(\text{当該学期の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{当該学期の総履修登録単位数}}$$

(2) 累積GPAの計算式

$$\text{累積GPA} = \frac{(\text{全期間の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{全期間の総履修登録単位数}}$$

(GPA対象科目)

第4条 当該学群の履修細則に規定する卒業要件に係わる授業科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、次の授業科目については、学期GPA及び累積GPA対象科目から除くものとする。

- (1)本学で修得した単位と認定された授業科目
- (2)第2条に定める「P」又は「F」で評価される授業科目
- (3)学類長からの要請を踏まえ学群長が指定する授業科目

(成績評価の厳格化)

第5条 学群長及び共通科目等運営部会長は、関係学類又は関係共通科目等における成績評価分布の目標をあらかじめ定め、公表するものとする。

(成績通知と成績証明書)

第6条 各学期の成績通知においては、学期GPAと累積GPAを記載するものとする。

2 成績証明書には、GPAの算出方法などをあわせて記載する。

(雑則)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPAの実施に関し必要な事項は、学群教育会議の議を経て、副学長（教育担当）が別に定める。

附則

1 この要項は、平成25年4月1日から実施し、平成25年度入学者から適用する。

以上

GPA 検討 WG (メモ)

1. 本日の論点 (WG)

① TWINS の改修について(詳しくは歳森委員から)

- ・ 25 年度からの移行を目指して、改修作業は大詰め。今からの大規模な改修は難しい。
例 学生が自らの学びの計画と履修規則にしたがって pass/nonpass 科目指定すること
履修取り消し期間の設定 (履修取り消しは新 TWINS でも想定していない)
- ・ 学群・学類単位の GPA 計算除外科目の指定は可能。
- ・ 学生の履修指導、厳格な成績評価の状況把握などのためのデータ集計設定は導入作業の範囲内で対処できる。分析等は新規の開発が必要。

② 成績評価記号と GPA の集計方法

・成績評価記号と評価

成績評価記号	GP (評価点)	評価基準	参考 (100 点満点での 目安)
A+	4	到達目標を十分に達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	90 点以上
A	3	到達目標を十分に達成している	80~89 点
B	2	到達目標を達成している	70~79 点
C	1	到達目標を最低限度達成している	60~69 点
P	—	到達目標を達成している	
D	0	到達目標を達成していないので、再履修が必要である	60 点未満

→WG 後の検討において、「P (到達目標を達成している：合格)」、「F (到達目標を達成していないので、再履修が必要である：不合格)」とした。

注 履修放棄は D と同様に扱う (履修上限制度も考慮の上)

・GPA の計算方式

- (各評価の評価点×単位数) / 総履修登録単位数 (D の単位数を含む)
- 「単位認定科目」「合否のみの科目」は計算式に含めない。
- 「卒業要件外の科目 (教職科目等)」「計算除外科目」は計算式に含めない。

・GPA の計算単位

- 学期 GPA と通算 GPA の双方を算出する。
- 再履修時の成績の扱い —— 前回の成績もそのまま (D のまま) 残る。

③ 成績通知と成績証明書

- ・ 各学期の成績通知には学期 GPA とそれまでの通算 GPA を記載する。
- ・ 成績証明書には、GPA の算出方法や成績分布などもあわせて記載し、学生の不利益にならないように配慮する。

④ 成績評価の厳格化、目標水準の設定及び達成状況の公表

- ・ 各学類や共通科目運営部会でその学期に開設され、成績報告された全科目の履修学生全員の成績を学類ごと、あるいは共通科目ごとに集計して公表する。
- ・ 各学類、共通科目運営部会は、成績評価分布の目標をあらかじめ定め、公表する。目標水準の記述例として

「A'とAの割合をおおむね30%以下とする」

「A'の割合はAの割合以下、A'とAの合計の割合をBとCとDの合計の割合以下にする」

- ・ 目標水準の達成に向けて一方法は各学類および共通科目運営部会に任せるが、原則は以下のよう
に考えたい。
 - 学類および、共通科目ごとの集計結果のみを公表するので、達成されたかどうかの判断もこれを用いて行う。
 - ただ、科目ごとの集計、教員ごとの集計なども、学類および共通科目運営部会内での検討に資するため利用可能とする。
 - 科目ごとに成績評価の考え方は異なっても良い（相対主義でも絶対主義でもよい）。
 - 少人数科目の扱いも各学類での協議にゆだねる。
 - 計算除外科目の設定も各学類での協議にゆだねる。
 - 習熟度別クラス編成をとっている場合には、そのことを考慮する。

⑤ 学生の異分野挑戦意欲への配慮

- ・ 関連科目制度の導入など、筑波大学では「幅広い学び」「異分野への挑戦」を奨励してきており、これを大事にしたい。
- ・ しかし、新 TWINS は既に構築段階にあり、学生が自らの判断で「pass/nonpass」を科目ごとに指定する機能を追加することは困難（次期改修時には導入可能）。
- ・ このため、他学類科目、他学群科目、自由科目（特設）等に関しては、学類ごとに判断することを要請する。このときに、他学群科目の履修を奨励するために、他学群科目に関しては GPA 計算から除外する（計算除外科目）ことなどが考えられる。

⑥ 学生ごとの履修指導のための集計

- ・ 取得単位数と学期 GPA、及びその推移は学生の履修指導上、きわめて有用である。このため履修指導に使いやすい形で、簡単に出力できるような機能を TWINS に装備する。
- ・ 各学群・学類での独自の工夫も期待する。エシス、知識のシートが参考になろう。

⑦ 活用方法

- ・ 学生の履修・学習指導の他にも、多数の活用方策が考えられる。これらについては、各学類のアイデアを活かし、積極的に実践できるような環境の整備に努める。
 - 集計ソフトの充実
 - 発表・意見交換機会の設定（FD活動）
- ・ 以上ともあわせて、筑波大学の成績評価の厳格化と単位の実質化への活動とその実績報告として、広く学内外にアピールすることを考える。

⑧ ガイドラインの作成

- ・ GPA制度の意味と意義の理解が教職員・学生にひろがり、スムーズな導入ができるようにガイドライン（Q&A）を作成する。
- ・ モデルは、北大作成のもの

⑨ GPAの実質化へ向けた時間感覚 — おおむね5年先に成績評価の厳格化、履修登録上限制度の実質化が達成されるくらいの速度感で、課題を一つ一つ解決しながら進めていく。

⑩ 本WGの成果物

- ・ GPA実施規則
- ・ GPA導入ガイドライン（Q&A）

以上

2 学期制への移行に伴う外国語時間割編成基本方針について

【趣旨】

外国語センターでは、6 月 1 日開催の全学学群教育課程委員会において平成 25 年度の教育課程（開設授業科目）編成方針が示されたことを受け、3 学期制から 2 学期制への移行に伴い、外国語教育の教育効果上及び学生の不利益にならない等の観点から、各語学連絡責任者及びカリキュラム担当教員等により慎重な検討を行い、7 月 4 日開催の外国語センター運営委員会及び同センター会議において「2 学期制への移行に伴う外国語時間割編成基本方針について」として正式に決定しましたので、ご報告致します。

【概要】

「2 学期制への移行に伴う外国語時間割編成基本方針について」は、共通科目外国語の平成 25 年度の教育課程（開設授業科目）編成を行う上での基本方針を定めたものです。

今後、この基本方針を受け、各語学（英・独・仏・西・露・中・朝・亜）において具体的な教育課程（開設授業科目）の編成作業を行うこととなります。

（基本方針の概略）

- 1 1 単位の計算方法について
2 学期制では対面授業 22.5 時間で 1 単位となることを明記。
※ 3 学期制での対面授業 30 時間で 1 単位から移行するため明確化したもの。
- 2 旧通年科目の年間授業回数について
2 学期制では 3 学期制における通年科目を、年間 23 回授業（1.5 単位）として実施することを明記。
※ 3 学期制での年間 30 回授業から移行するため明確化したもの。
- 3 旧通年科目の実施モジュールについて
年間 23 回授業を、原則として春学期 8 週（A・B モジュール・0.5 単位）、秋学期 15 週（A・B・C モジュール・1.0 単位）で実施することを明記。
併せて、春学期 C モジュールについて、固定時間割枠を確保することを明記。
- 4 旧学期完結科目の開設方法について
2 学期制（セメスター制）の趣旨を活かすため、春学期 8 週（A・B モジュール・0.5 単位）、春学期 15 週（A・B・C モジュール・1.0 単位）、秋学期 8 週（A・B モジュール・0.5 単位）及び秋学期 15 週（A・B・C モジュール・1.0 単位）を基準として実施することを明記。
- 5 2 学期制への移行に当たり科目編成する上での留意点 5 点を明記。
- 6 固定時間割を基準に編成することを明記・・・・・・・・・・従前の基本方針を継承。
- 7 クラス編成について、原則として学群単位とすることを明記・・・・・

【資料名】

- ・「2 学期制への移行に伴う外国語時間割編成基本方針について」

担当：教育推進部教育推進課外国語センター

鈴木（TEL：2124 FAX：6616）

E-mail：suzuki.kiyoshi.fn@un.tsukuba.ac.jp

平成24年度 TOEFL-ITP スコア一覧【学群】

学群	学類	対象者	受験者数	最高点			最低点			平均			平成23年度			
				Listening Comprehension	Structure & Written Expression	Reading Comprehension	Total score	Listening Comprehension	Structure & Written Expression	Reading Comprehension	Total score	Listening Comprehension	Structure & Written Expression	Reading Comprehension	Total score	受験者数
人文・文 化学群	人文学類	133	49	54	54	56	527	35	38	35	397	45.7	45.4	48.1	464.3	41
	比較文化学類	85	46	58	55	550	41	31	32	387	48.0	46.4	49.6	480.5	46	
	日本語・日本文化学類	42	21	50	51	503	41	38	31	390	45.6	44.5	45.0	450.5	15	
社会・国 際学群	社会学類	99	28	60	53	55	543	40	36	32	400	47.6	46.7	46.3	468.3	18
	国際総合学類	90	40	61	60	590	41	41	31	403	49.9	48.1	49.3	491.1	39	
人間学群	教育学類	40	13	50	52	58	527	38	38	38	403	44.3	45.7	46.4	454.5	15
	心理学類	52	25	52	56	507	35	36	32	387	45.3	45.5	46.1	456.4	22	
	障害科学類	40	14	53	53	530	43	35	31	397	46.4	45.4	44.0	459.5	13	
生命環境 学群	生物学類	91	47	57	56	61	553	35	32	31	327	46.4	46.4	47.4	467.3	68
	生物資源学類	150	93	68	60	607	38	38	31	387	47.4	45.6	47.6	468.5	79	
	地球学類	55	31	68	59	620	42	32	32	397	46.5	44.8	47.5	462.9	35	
理工学群	数学類	47	20	47	56	57	533	34	38	35	397	43.7	45.7	46.0	451.1	18
	物理学類	73	32	48	51	53	497	33	36	32	370	43.1	43.1	44.0	433.8	19
	化学類	55	27	54	54	550	35	40	35	407	45.0	46.1	47.0	460.2	23	
理工学群	応用理工学類	138	54	52	53	55	527	31	35	31	337	44.3	45.1	46.1	451.8	72
	工学システム学類	143	69	66	59	64	627	33	38	37	400	45.4	45.2	47.1	459.3	83
	社会工学類	133	34	61	55	58	580	31	32	31	347	45.3	44.8	46.3	456.2	47
情報学群	情報科学類	101	35	51	53	56	523	33	31	31	340	44.4	43.7	48.2	454.0	46
	情報メディア創成学類	68	26	58	64	63	617	34	35	31	360	43.3	43.9	46.9	446.9	38
	知識情報・図書館学類	120	84	63	58	58	597	33	31	31	353	44.7	44.0	44.6	444.5	74
医学群	医学類	111	33	66	64	62	640	44	43	41	427	50.2	50.8	52.3	510.9	39
	看護学類	77	21	60	50	54	507	32	35	31	370	44.6	42.4	43.3	434.6	40
	医療科学類	41	10	55	49	53	490	43	36	37	407	46.7	42.6	44.6	446.4	12
体育専門学群	251	135	58	55	54	543	32	31	31	320	43.1	39.9	39.4	407.9	153	
芸術専門学群	106	39	68	68	67	677	33	31	31	347	45.6	42.7	42.6	437.2	31	
	全体	2,341	1,026	68	68	677	31	31	31	320	45.6	44.6	45.8	453.3	1,086	

<参考>

*Listening Comprehension (31-68), Structure & Written Expression (31-68), Reading Comprehension (30-67), Total score (310-677)

*最高点・最低点は各セクションにおける最高・最低の点数であり、Total scoreに対する個人のものではありません。

*平均値のTotal scoreの全体欄の点数は、全受験者の点数を合算し、受験者数で除算のうえ算出

155	87	64	64	65	640	31	32	31	350	47.4	46.4	48.7	474.9	99
-----	----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	------	------	------	-------	----

平成24年度国家公務員採用総合職試験結果について

平成24年度国家公務員採用総合職試験の志願者数、一次合格者数、最終合格者数を報告するものです。

平成24年度試験結果					前年度試験結果			
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数	試験区分	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	17 (4)	0 (0)	0 (0)	行政	48 (24)	1 (0)	0 (0)
政治・国際	大卒	23 (9)	0 (0)	0 (0)	法律	42 (20)	4 (2)	2 (1)
法律	大卒	42 (18)	0 (0)	0 (0)	経済	35 (5)	4 (1)	3 (1)
経済	大卒	21 (4)	4 (0)	1 (0)	人間科学Ⅰ (心理系)	10 (5)	4 (2)	2 (1)
人間科学	院卒	7 (3)	2 (2)	1 (1)	人間科学Ⅱ (教育・福祉・社会系)	9 (6)	3 (1)	3 (1)
	大卒	21 (12)	5 (2)	3 (1)	理工Ⅰ (一般工学系)	47 (3)	11 (0)	4 (0)
工学	院卒	12 (1)	3 (0)	0 (0)	理工Ⅱ (数理科学系)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
	大卒	14 (0)	2 (0)	0 (0)	理工Ⅲ (物理・地球科学系)	22 (0)	1 (0)	0 (0)
数理科学・物理・地球科学	院卒	12 (2)	0 (0)	0 (0)	理工Ⅳ (化学・生物・薬学系)	26 (7)	1 (0)	0 (0)
	大卒	18 (4)	0 (0)	0 (0)	農学Ⅰ (農業科学系)	18 (5)	3 (1)	2 (1)
化学・生物・薬学	院卒	12 (2)	0 (0)	0 (0)	農学Ⅳ (水産系)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	大卒	11 (5)	0 (0)	0 (0)	農学Ⅱ (農業工学系)	6 (2)	2 (1)	0 (0)
農業科学・水産	院卒	8 (3)	1 (0)	0 (0)	農学Ⅲ (森林・自然環境系)	17 (8)	6 (2)	5 (2)
	大卒	10 (7)	0 (0)	0 (0)	合計	282 (85)	40 (10)	21 (7)
農業農村工学	院卒	1 (0)	0 (0)	0 (0)	合格率		14.18%	7.45%
	大卒	4 (1)	0 (0)	0 (0)				
森林・自然環境	院卒	6 (1)	1 (0)	1 (0)				
	大卒	6 (2)	1 (0)	1 (0)				
合計		245 (78)	19 (4)	7 (2)				
合格率			7.76%	2.86%				

* 人事院からの資料に基づき集計したもので、既卒者を含み、()内は女子を内数で示す。

※裏面以降に参考として人事院発表(人事院HP)及び関連掲載記事(時事ドットコムHP)を添付しています。

担当：学生部就職課(教員・公務員担当)
菅野 (TEL: 2249 FAX: 2257)
E-mail: sugano.akira.ke@un.tsukuba.ac.jp

平成24年7月5日
財務部財務企画課

給与減額支給に係る予算の節減について (案)

経緯及び考え方

平成24年5月31日開催の第106回役員会において、国家公務員の給与の臨時特例を踏まえた本学の給与改定について決定され、6月1日から実施されているところであるが、運営費交付金については、平成24年4月から平成25年3月までの年間分の給与減額相当額が、今後、国の補正予算編成等の際に減額されることが見込まれている。

このことから、減額支給の未実施期間(4、5月分)及び経過措置期間(6、7月分)に係る差額についての財源の確保が必要となるため、以下のとおり学内予算を留保する。

必要財源

給与減額支給に係る必要財源 : 630百万円

節減対象経費及び節減率

- (1) 「重点及び戦略的経費(系・研究科経営経費を除く)」及び
「管理運営費(光熱水料等を除く)」 ⇒ 11.27%
- (2) 「教育研究基盤経費」及び「系・研究科経営経費」 ⇒ 5.63%

給与減額支給に係る予算の節減について

○支出予算事項別節減対象経費

(単位：千円)

事 項	平成23年度 予算額	平成24年度 予算額	増減額 (H24-H23)
一般経費	(48,083,511) 45,693,430	45,224,638	(△ 2,858,873) △ 468,792
人 件 費	(29,688,968) 29,764,490	30,041,818	(352,850) 277,328
教育研究基盤経費	(1,411,347) 1,419,267	1,458,900	(45,651) 37,731
学生教育経費	(844,262) 844,262	850,307	(6,045) 6,045
施設整備経費	(3,779,632) 3,349,637	2,974,999	(△ 1,100,623) △ 670,628
設備運賃費	(3,825,421) 3,948,882	4,039,504	(254,173) 130,712
教育研究支援経費	(6,882,471) 4,682,257	4,181,423	(△ 2,701,048) △ 500,834
研究環境基盤整備経費 (間接経費)	(1,586,410) 1,369,635	1,620,489	(34,079) 250,854
学生支援特別経費	(65,000) 65,000	65,000	(0) 0
予備費	(0) 250,000	250,000	(250,000) 0
特別経費	(1,501,716) 1,501,716	2,235,628	(733,912) 733,912
特殊要因経費	(8,361,277) 8,361,277	7,944,706	(△ 416,571) △ 416,571
附属病院経費	(21,686,517) 21,024,749	22,884,308	(1,197,791) 1,859,559
施設整備費	(3,901,621) 358,050	513,027	(△ 3,388,594) 154,977
受託研究等経費	(8,966,422) 7,338,979	9,012,190	(45,768) 1,673,211
合 計	(92,501,064) 84,278,201	87,814,497	(△ 4,686,567) 3,536,296

※1. 平成23年度予算額欄及び増減額欄の上段()書きは補正後の予算額及び増減額(前年度からの繰越分は除く)。

※2. 平成24年度予算額(案)欄の上段[]書きは、前中期目標期間繰越積立金で内敷

※3. 教育研究基盤経費の平成23年度予算額については特任助教(準研究員)分を組替後の予算額を計上

節減しないもの
 一部節減するもの
 予備費

経費別節減額内訳

(単位:千円)

事 項	節減対象額 (a)	節減額 (b)	執行可能額 (c)=(a)-(b)	節減率 (d)=(b)/(a)	備 考
1. 重点及び戦略的経費	1,987,712	213,012	1,774,700		
(1)教育戦略推進等経費	360,300	40,597	319,703	11.27%	
(2)研究戦略推進等経費	457,425	40,586	416,839		
系・研究科経営経費	194,425	10,953	183,472	5.63%	
その他	263,000	29,633	233,367	11.27%	
(3)社会貢献・産学連携イノベーション推進経費	128,185	14,443	113,742	11.27%	
(4)戦略的国際交流推進経費	160,888	18,128	142,760	11.27%	
(5)公募型教育研究経費等支援経費	240,000	27,042	212,958	11.27%	
(6)TA・RA等経費	0	0	—	—	
(7)教育研究設備整備費	50,000	5,634	44,366	11.27%	
(8)環境対応経費	105,000	11,832	93,168	11.27%	
(9)大学運営改善経費	333,656	37,595	296,061	11.27%	
(10)学生生活指導等支援経費	62,258	7,014	55,244	11.27%	
(11)キャンパス環境整備費	90,000	10,141	79,859	11.27%	
2. 管理運営費	1,197,282	134,904	1,062,378		
事務経費等	1,197,282	134,904	1,062,378	11.27%	
3. 教育研究基盤経費	1,456,998	82,084	1,374,914	5.63%	
小 計	4,641,992	430,000	4,211,992		
4. 予備費の充当	250,000	200,000	50,000		
合 計		630,000			

※「重点及び戦略的経費」のうち、技術移転マネージャー、G30の人件費等は節減対象経費から除いている。

平成 24 年度 第 5 回 学 群 教 育 会 議 議 事 次 第

- 1 日 時 平成 24 年 9 月 18 日 (火) 15 : 10 ~
2 場 所 本部棟 5 階 大会議室
3 議 事

【審議事項】

- (1) 学生の懲戒について
○ (2) 平成 25 年度学年暦について
○ (3) 2 学期制移行に伴う夏季休業期間における諸行事の開催日程調整について
(4) 平成 25 年度転学群・転学類の志願者の取扱いについて
(5) 学群入学試験実施に伴う平成 24 年度の授業の臨時休業措置等について
(6) 教養教育の再構築について
(7) その他

【報告事項】

- (1) 学期制の見直しについて
(2) 筑波スタンダード(学士課程)の改定について
(3) 教育 P D C A サイクルの推進について
(4) 平成 24 年度学群・大学院 G 3 0 英語プログラム受入状況について
(5) 平成 24 年度ドイツ語検定試験について
(6) 初修外国語教育の改革＝アラビア語の拡充の意義と開設スケジュール＝について
(7) 平成 24 年度第 2 学期推薦入試実施結果等について
(8) 平成 24 年度受験生のための筑波大学説明会実施結果について
(9) 平成 25 年度「学群」非常勤講師枠の配分について
(10) 平成 24 年度第 1 期分授業料免除の選考結果について
(11) 学生の事件・事故について(7・8 月分)
(12) 平成 24 年度(第 36 回)秋季スポーツ・デーについて
(13) 平成 25 年度 C D P 科目の開設予定調査について
(14) 茗溪・筑波ランドフェスティバルについて
(15) 情報セキュリティ教育の充実に向けた取組について
(16) その他
① 12 月の学群教育会議日程について

【配布資料】

- (1) 平成 25 年度学生募集要項(個別学力検査等・推薦入試)
(2) 筑波大学の大学・大学院教育のフレームワーク

次回学群教育会議開催日程：平成 24 年 10 月 16 日(火) 15 時 10 分～

平成 25 年度学年暦 (案) について

平成 25 年度の学年暦 (案) 及び学年暦カレンダー (案) を作成しましたが、2 学期制移行の初年度でもあることから、意見聴取したいと思います。

本日の意見を基に原案を作成し、今回の会議においてご審議いただきますのでご意見等よろしくお願ひいたします。

【概要】

- ・各学期の各曜日とも 15 回の授業日数を確保するため、平成 25 年度は 6 日分の授業の振り替えが必要となります。
- ・臨時休業日については、11/5 (学園祭の後片づけ)、11/29 (推薦入試準備)、1/17、20 (大学センター試験) の 4 日間となります。
- ・個別学力検査 (前・後期) については、休業中の実施となります。
- ・秋学期の入学式の日程については、検討中のため記載しておりません。
- ・試験期間の設定は以下のとおりです。
 1. ABC モジュール (15 週) の後に期末試験を 1 週確保。
 2. AB モジュール (10 週) の後に期末試験を 1 週確保。
 3. C モジュール (5 週) の後に期末試験を 1 週確保。

* 春 C モジュールの試験期間確保のため、8 月 14 日まで試験期間を設定。

- 4. A モジュールの期末試験期間は設定しておりません。

【その他】

- ・全学防災訓練実施日については、日程が決まり次第掲載することとします。

【会議審議日程】

- ・平成 24 年 9 月 18 日 学群教育会議・大学院教育会議 (意見聴取)
- ・平成 24 年 9 月 28 日 教育企画室会議 (原案作成)
- ・平成 24 年 10 月 16 日 学群教育会議・大学院教育会議 (審議)
- ・平成 24 年 10 月 18 日 運営会議、教育研究評議会 (審議)

【資料名】

- ・平成 25 年度学年暦 (案)
- ・平成 25 年度学年暦カレンダー (案) 学群関係
- ・ " 大学院関係
- ・ " 大学院関係 (東京キャンパス)

担当

教育推進部教育推進課

学群教務 (TEL: 2208 FAX: 7379)

大学院教務 (TEL: 2226 FAX: 7379)

平成25年度 学年暦(案)

事 項	学 群	大 学 院 【 】は 東京キャンパス
春学期(4月1日～9月30日)		
学年開始	4月 1日(月)	4月 1日(月)
春季休業	4月 1日(月)～ 4月 7日(日)	4月 1日(月)～ 4月 7日(日) 【 4月 1日(月)～ 4月 8日(月)】
入学式	4月 8日(月)	4月 8日(月) 【 4月 6日(土)】
新入生履修ガイダンス	4月 9日(火)	
新入生オリエンテーション	4月10日(水)～ 4月11日(木)	4月 8日(月)～ 4月 9日(火) 【 4月 6日(土)】
春学期授業開始	4月12日(金)	4月10日(水) 【 4月 9日(火)】
春季スポーツ・デー	5月18日(土)～ 5月19日(日)	5月18日(土)～ 5月19日(日)
春A Bモジュール期末試験	6月26日(水)～ 7月 2日(火)	6月26日(水)～ 7月 2日(火)
春A B Cモジュール期末試験	8月 1日(木)～ 8月 7日(水)	8月 1日(木)～ 8月 7日(水) 【 7月23日(火)～ 7月25日(木) 8月 2日(金)～ 8月 3日(土)】
春学期授業終了	8月 7日(水)	8月 7日(水) 【 7月27日(土)】
春Cモジュール期末試験	8月 8日(木)～ 8月14日(水)	8月 8日(木)～ 8月14日(水)
夏季休業	8月15日(木)～ 9月30日(月)	8月15日(木)～ 9月30日(月) 【 8月11日(日)～ 9月30日(月)】
秋学期(10月1日～3月31日)		
秋学期入学式	×月 ×日(×)	×月 ×日(×)
秋学期授業開始	10月 1日(火)	10月 1日(火)
★1 開学記念日	10月 1日(火)	10月 1日(火)
筑波キャンパス電気設備点検(全学停電)	10月19日(土)～10月20日(日)	10月19日(土)～10月20日(日)
★2 学園祭	11月 2日(土)～11月 4日(月)	11月 2日(土)～11月 4日(月)
秋季スポーツ・デー	11月23日(土)～11月24日(日)	11月23日(土)～11月24日(日)
秋A Bモジュール期末試験	12月16日(月)～12月20日(金)	12月16日(木)～12月20日(金)
冬季休業	12月27日(金)～ 1月 5日(日)	12月27日(金)～ 1月 5日(日) 【12月27日(金)～ 1月 6日(月)】
秋A B Cモジュール期末試験	1月28日(火)、2月 5日(水)～10日(月)	1月28日(火)、2月 5日(水)～10日(月) 【 1月21日(火)～ 1月23日(木) 1月31日(金)、 2月 8日(土)】
秋Cモジュール期末試験	2月 4日(火)、2月12日(水)～17日(月)	2月 4日(火)、2月12日(水)～17日(月)
秋学期授業終了	2月10日(月)	2月10日(月) 【 2月 1日(土)】
春季休業	2月18日(火)～ 3月31日(月)	2月18日(火)～ 3月31日(月) 【 2月 9日(日)～ 3月31日(月)】
卒業式	3月25日(火)	3月25日(火) 【 3月29日(土)】
大学院学位記授与式		
学年終了	3月31日(月)	3月31日(月) 【 3月31日(月)】

(備 考)

- ★1 10月1日(火)の開学記念日は、休講とせずに授業を実施する。
- ★2 学園祭の実施に伴い、11月5日(火)の授業は、後片付けのため、臨時休講とする。(東京キャンパスを除く)
- 3 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休講とする。(東京キャンパスを除く)
- 4 5月7日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。7月17日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
10月17日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。11月6日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
12月26日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。1月15日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。
- 5 学群の入学者選抜の実施に伴う臨時休業は、準備及び後片付けに要する時間を含め、別に定める。(東京キャンパスを除く)
- 6 医学類に係る卒業日は平成26年3月7日とし、卒業式は上記日程に従い実施する。
- 7 平成24年度以前に8月又は12月に入学した者で標準修業年限で卒業・修了する者に係る卒業日・修了日は、それぞれ7月25日、11月30日とする。

(各モジュールの授業実施期間)

	期 間		期 間
春A	4月12日～5月21日 *大学院については4月10日開始	秋A	10月1日～11月7日
春B	5月22日～6月25日	秋B	11月8日～12月13日
春C	6月26日～8月7日	秋C	12月14日～2月10日

平成25年度学年暦カレンダー(案)

		春学期												秋学期																		
		パターン1(A~Cモジュールを基本)						パターン2(ABモジュールを基本)						パターン1(A~Cモジュールを基本)						パターン2(ABモジュールを基本)												
曜日	月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	備考		
4月	10月	7	14	21	28	5	12	19	26	1	8	15	22	29	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	備考 春休み4/1-4/7 入学式&8.新入生履修ガイダンス&9.新入生オリエンテーション4/10-4/11 履修ガイダンス4/12
5月	11月	5	12	19	26	2	9	16	23	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	備考 ※17日は月曜日の授業を実施 春休み5/1-5/19
6月	12月	2	9	16	23	30	6	13	20	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	1	8	15	22	29	6	13	20	27	備考 ※17日は月曜日の授業を実施 ※ABモジュール期末試験6/26-7/2
7月	1月	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	備考 ※17日は月曜日の授業を実施 ※1学期末卒業式7/28(2学期入学者等)
8月	2月	4	11	18	25	3	10	17	24	1	8	15	22	29	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	備考 ※ABモジュール期末試験及び補講日B.1-6/7 春学期卒業式7/7 春学期モジュール期末試験及び補講日B.6-8/14 夏休み8/16-8/30
9月	3月	1	8	15	22	29	5	12	19	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	備考 ※17日は月曜日の授業を実施 ※卒業式3/25
10月	4月	15	22	29	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	備考 ※17日は月曜日の授業を実施 ※卒業式4/25	

(注) 1. 赤字は、国民の祝日に関する法律による休日(振替え休日含む)を示す。(ただし、春分の日は予定である。)
 2. 期末試験日は「」で示す。
 3. 卒業式及び休講日は「」で示す。
 4. 入学式・履修ガイダンス・新入生オリエンテーション・卒業式は「|||」で示す。

5. 11月5日(火)は、大学行事(学園祭)による臨時休業日。
 6. 11月29日(金)は、推薦試験関係で全日臨時休業とする予定。
 7. 1月17日(金)及び1月20日(月)の授業はセンター入試の関係で全日臨時休業とする予定。

2学期制移行に伴う夏季休業期間における諸行事(筑波キャンパス)の開催日程調整について(案)

平成25年度からの2学期制移行に伴い、夏季休業期間に実施する各種行事の開催日程、特に教育推進部が所掌する大学院入学試験(教育推進課)、受験生のための筑波大学説明会(入試課)及び教員免許状更新講習(社会連携課)については、8月後半に集中するため、予め日程調整を行う必要がある。

	平成24年度(現行)	平成25年度(案)	備考
8月期大学院入学試験	8月20日(月)設営 8月21日(火)～8月24日(金)	8月19日(月)設営 8月20日(火)～8月23日(金)	・研究科、専攻によっては例年東大、東工大等とほぼ同一期間に行っている ・高等学校の夏季休業期間内に実施し、大学院入試日程と重複を避ける ・地域によっては高等学校の夏季休業期間が終了し、新学期が始まるため参加者の減少が予想される ・新学期開始は北海道8/20頃、東北地方8/25頃、茨城県8/28～9/1頃と地域及び高校により異なる ・近隣高等学校の一部では8/28から期末試験期間 ・8月後半に説明会を開催する国立大学は、東京農工大学、埼玉大学、大阪大学
受験生のための大学説明会	7月30日(月)～8月1日(水)	8月27日(火)～8月29日(木)	
教員免許状更新講習会	8月2日(木)～8月3日(金) 選択1,200名 8月4日(土)～8月7日(火) 必修500名	7月27日(土)～7月28日(日) 選択1,200名 8月3日(土)～8月4日(日) 必修500名	・受講者のニーズにあった時期に講習が確保可能 ・筑波大学の免許更新講習会の時期は、例年6月の土・日、7月下旬、8月上旬という認識がある ・茨城県教育委員会からも8月期の実施について要請有

担当
教育推進課大学院入試(TEL:2231)
入試課(TEL:2212)
社会連携課教員免許更新(TEL:2096)

共通科目「情報処理」の再構築に関する検討状況（授業改革案）

Sept./14/2012

共通科目「情報処理」推進室

安永守利

1) 科目名称の変更

共通科目「情報処理」推進室を中心に科目名称について検討した結果、来年度から本科目の名称を下記のとおり変更したいということになりました（“情報処理”から“処理”を削除）。

現在の名称： 「情報処理（講義）」、「情報処理（実習）」

変更後の名称： 「情報（講義）」、「情報（実習）」

理由は以下のとおりです。

本学では情報リテラシ教育を共通教養教育の柱の一つとして、開学以来、他大学に先駆け共通科目「情報処理」を推進してきました。開学当時は、計算機の基礎的しくみの理解やデータの取り扱い方を学ぶことがカリキュラムの中心であり、科目名称も「情報処理（講義）」、「情報処理（実習）」として進められてきました。具体的な授業内容は、大型計算機を用いた

- ・計算機による計算のしくみ
- ・プログラミングの基礎
- ・データのまとめ方

が中心であり、科目名称どおり情報の“処理”を学ぶことに主眼がおかれてきました。

一方、情報化社会が急激に進み、それとともに本授業の内容も情報の“処理”だけではなく、

- ・インターネットの利用技術、Webによる情報発信
- ・情報セキュリティ
- ・情報倫理、メディアリテラシ

といった ICT の幅広い分野をカバーする内容に変化してきています。このため、現在の授業内容をより正しく反映した名称に変更することで意見がまとまりました。

2) 全学群・学類の「講義」早期履修

新入生は入学後すぐに電子メールや Web 検索などの利用を開始します。このため、“情報倫理”、“インターネットセキュリティ”、“知的財産権”、“個人情報保護”について早期履修することが必要と考えます。このため、来年度から

全ての学群・学類の「講義」を春 AB モジュール中に履修

するように時間割案を変更したいと考えます。また、上記の項目に関する教材を強化し、授業内容の一層の充実を図ります。

以上

平成25年度の2学期制の教育課程の編成に向けて（報告）

1. 趣旨

現在、各教育組織、教育センター及び関係の事務部等（各教育組織に対応する支援室を含む。）（以下「関係組織等」という。）においては、平成25年度から実施する2学期制の準備を開始していただいているところですが、“特筆すべき大きな課題改善の要望”がありました。

このことに関連して、平成25年度の2学期制の教育課程の編成に関する留意事項等について、下記のとおり報告します。（詳細は、別添資料）

（特筆すべき大きな課題とは）

ア. 春学期の授業実施期間（期末試験実施期間を含める。）に関して大学設置基準に定められている15週の期間を確保した場合、授業終了時期（期末試験の終了を含めて）が8月（夏季休業期間）の中旬になるという課題

イ. 平成24年度以前に入学した学生への教育課程の柔軟な対応と教育的な配慮の範囲

2. 平成25年度の2学期制の教育課程の編成に関する留意事項

（1）モジュール活用に関する基本的な2つの考え方

①春A～C（15週）、秋A～C（15週）モジュールを活用

②春A、B（10週）、秋A、B（10週）モジュールと春C（5週）、秋C（5週）の組合せを活用

※1単位に必要な授業時間を確保し、授業実施期間が8月にならないように努力する。

例えば、Cモジュールの活用を週複数回の授業実施等で授業時間を確保する ほか

（2）教育課程編成に関する基本的な2つの考え方

①平成24年度の授業科目の名称、単位数等を変更しないで平成25年度の教育課程の編成を行う方法

②授業科目の改善・充実等のために、平成24年度の授業科目の単位数や授業実施回数を変更（10回完結を15回完結とする等）して、平成25年度の教育課程の編成を行なう方法

3. 平成24年度以前入学者の学群履修細則、研究科の部局細則等の運用等に関する考え方

（1）学生は、入学時の学群履修細則や研究科の細則等（以下「部局細則等」という。）を適用

（2）開設する授業科目が変わった場合には、入学年度の部局細則等を拡大運用

（3）過去の年度部局細則等の変更は原則行なわないが、平成24年度以前に入学した学生に対応する部局細則等の運用については、部局の運営会議等の決定事項（又は取扱いとして決定する。）とすることが必要

（参考）

○説明会の実施について

（1）9月24日（月）14：30から全体説明会を計画（対象：教職員、学生）1H201

（2）在学生に対する説明会について

・特に履修の方法についての説明が必要

・全学の説明会以外に、教育組織単位での説明会の開催が必要

○必要に応じて、各教育組織と教育推進部の関係者間で意見交換を行なう

○事前に送付しました、学期制の検討報告書（案）は、文言等を修正し、印刷製本し、配付

○入学の時期は、4月1日、10月1日とする。（9月入学、国費留学生の延長等は特例対応）

教育推進部

別添資料

3 学期制から 2 学期制への移行についての整理 －平成 25 年度の 2 学期制の教育課程の編成に関する留意事項－

平成 24 年 9 月 18 日

教育推進部

1. モジュール活用に関する基本的な考え方

(1) モジュール活用の基本パターンについて

次の 4 つのパターンの、①春 A～C モジュール (パターン 2)、又は②秋 A、B モジュール (パターン 1) と春 C、秋 C (パターン 3) の組合せを基本的な考え方とします。

【パターン】

パターン 1 : 春学期 (春 A、春 B モジュール) 及び秋学期 (秋 A、秋 B モジュール) で各学期 10 週間の授業科目を開設

パターン 2 : 春学期 (春 A～春 C モジュール) 及び秋学期 (秋 A～秋 C モジュール) で各学期 15 週間の授業科目を開設

パターン 3 : 春学期 (春 C モジュール) 及び秋学期 (秋 C モジュール) は、2 コマ連続又は週 2 回以上 (10 コマ確保) の授業科目を開設

パターン 4 : 春学期 C モジュールおよびサマーセッションにおいて集中授業等を効果的に利用して授業科目を開設 (例 : 7 月の初旬、9 月の下旬に集中授業を開設)

(2) 期末試験実施期間とモジュール活用パターンの運用について

ア. 各学期 15 週連続で授業科目を開設する場合、春学期の 16 週目、秋学期の 16 週目を期末試験実施期間とします。

イ. モジュールの単位で授業科目を開設する場合は、春学期・秋学期ともに、授業実施週数 15 (5 + 5 + 5) 週に対し、1 週間の期末試験実施期間を 2 回確保します。

この場合、1 回目の期末試験実施期間は、11 週目を全学統一の期末試験実施期間とすることを原則とします。

ウ. 5 週の単位 (各モジュール単位) 以内で完結する授業科目を開設する場合 (例えば、週 2 コマの授業を 5 週実施、週 3 コマの授業を 4 週実施、週 4 コマの授業を 3 週実施、集中講義を実施等) には、大学設置基準上必要な授業の実施時間数 (講義・演習等の場合、実授業 15 時間) を確保し、試験等の実施方法 (例えば、11 コマ目に試験を行なうことや、各週の授業終了後に到達度評価を行ない、授業の最終にレポートの提出等による最終評価など) による柔軟に対応が可能ですが、厳格な成績評価の実施に留意する必要があります。

エ. 祝日、振替休日等で各学期 15 週の授業実施期間が確保できない曜日 (月曜日から金曜日 (東京地区は火曜日から土曜日) がある場合には、曜日を振替える等の対応を行い、各曜日 (月曜日から金曜日「東京地区夜間大学院は、火曜日から土曜日」) 15 回の事業実施日を確保し、期末試験実施期間は授業実施期間以外の日程を確保しなければなりません。

→ 1 単位に対応する授業時間の確保はかならず必要、授業日数の柔軟化を検討

2. 2学期制（平成25年度）の教育課程の編成の基本的な考え方について

(1) 平成24年度の授業科目の名称、単位数等を変更しないで平成25年度の教育課程の編成を行なう場合

【課題】

○平成24年度まで、10週×3学期（30回）で実施していた授業科目を、10週×2学期分（20回）と、5週単位の2つの別々のモジュールを活用し実施（10回）する課題

【対応方法等】

ア. 5週単位の1つのモジュールで、週複数回授業を行なうこと。

イ. 教育課程の効果が高まる場合等は、春Cモジュールと秋Aモジュールで完結させる授業科目の開設を可能（例えば、講義：春Cモジュール、予習・復習：夏季休業期間、演習：秋Aモジュール等）とすること。

ウ. 卒業研究、研究指導等の授業科目は必要に応じて、通年で授業科目を開講することを可能とすること。ただし、通年で開設する科目の場合は、学年の途中で履修できなくなった学生への配慮が困難となることに留意すること。

(2) 授業科目の改善・充実等のために、平成24年度の授業科目の単位数や授業実施回数を変更（10回完結を15回完結とする等）して、平成25年度の教育課程の編成を行なう場合

【課題】

○平成24年度に2単位で開設（週2回10週）した授業科目を平成25年度は1.5単位で開設（週1回15週）とする場合、0.5単位分の授業科目開設の有無

【対応方法等】

ア. 一般的な授業科目の開設方針としては、0.5単位の授業科目は想定されていない。

イ. ただし、モジュールを活用してクラスセミナー等の授業科目を開設する場合には、必要に応じて認めることができることとする。

【課題】

○実験・実習等の授業科目で、平成24年度に各学期（10週）4.5単位で3学期（30週）で13.5単位で開設していた授業科目を、春学期、秋学期（各15週）で開設とした場合の各学期の授業科目の単位数6.75単位等の授業科目となることの課題

【対応方法等】

ア. 必要がある場合には、通年での授業科目の開設を認めることができることとする。また、(1)の対応方法等の「イ」について検証する。

イ. 1単位の計算方法の弾力的な対応により、0.75単位を整理する。

3. 平成24年度以前入学者の学群履修細則、研究科の部局細則等の運用等に関する考え方

3学期制から2学期制への移行は、教育組織等の見直し又は改編等とは異なり、人材養成目的、教育研究上の理念、育成される人材等に対応する各教育組織の教育課程編成の基本方針等が変わるものではありません。しかし、学期制の移行は教育の質の向上を目指す施策であり、教育課程を一層充実させるための改善・改革等も必要に応じて行なわれます。

学群履修細則、研究科の部局細則等の適用と運用に関する基本的な考え方を下記に示します。

(1) 学生は、入学時に配付する履修要覧や大学院便覧に記載されている学群・学類、専門学群の履修細則や研究科の細則等（以下「部局細則等」という。）を適用する。

(2) 平成25年度に開設する授業科目が上記2（2）により変更となった場合には、対象となる学生が入学した年度の部局細則等をどこまで拡大運用（例えば、下記の①～⑤）させるかを整理する。

①同一の分野・領域等に対応する授業科目の名称や単位数が、平成25年度と平成24年度が異なる場合、授業科目に対応する“身に付く能力等”が同一以上の内容・水準等を担保することにより、平成24年度以前の入学者についても、卒業・修了要件の授業科目に認めることができることとする。

②授業科目の区分（基礎科目（共通科目、関連科目等を含む。）、専門基礎科目、専門科目等の区分「以下（区分）という。」）に対応する、必修科目、選択必修科目（大学設置基準では選択科目）、選択科目として修得すべき授業科目と単位数が、上記の①により、平成25年度と平成24年度が異なり（例えば、必修とする授業科目が平成24年度は2単位として開設し、平成25年度は1.5単位として開設する場合などは0.5単位の過・不足が生じることなど）整合性がとれない場合は、次の1）2）の対応ができることとする。

1) 枠組で対応することや、必修選択科目などで複数の授業科目から履修すべき授業科目を指定するなど可能とし、区分毎に修得すべき単位数の範囲（〇〇単位～〇〇単位として標記）で標記することができる。

2) 学生の年次や履修の方法等で、0.5単位分整合性がとれない履修状況となった学生に対する教育的な配慮は、教育組織毎に別に定めることができる。

③その他、平成24年度以前に本学に入学した学生が、履修上の整合性とれない問題が生じた場合には、教育組織の教育研究上の理念に基づき、教育組織が個別に対応することができることとする。

④上記の②の1）、2）及び③の対応を行なう場合は、教育推進部の担当と充分協議し、各教育組織の教育会議で決定することができることとする。

⑤平成25年度の開設する授業科目と3学期制の授業科目（平成24年度の授業科目）が比較できる「比較表」を作成し、該当する学生に周知することでほとんどの学生への対応が可能と思われませんが、特に学群・学類の高学年の学生においては、教育組織で個別に教育的な対応が必要となることが想定されます。

(3) 過去の年度部局細則等の変更は原則行なわないが、平成24年度以前に入学した学生に対応する部局細則等の運用については、部局の運営会議等の決定事項（又は取扱いとして決定する。）とする必要がある。

資料 13

2012(H24)年度 第5回 知能機能システム専攻教育会議

2012(H24)年度 第5回 知能機能工学域教員会議

日時： 2012年9月21日 10:00~

場所： 3L307 会議室

議題：

<議題番号に下線が施された項目は連携大学院教員に関連が深い事項>

[審議事項]	ページ
1. 前回議事メモの確認	2
2. 2学期制への移行について (カリキュラム委員会)	5
3. デュアルディグリープログラム (教育改革委員会)	6
4. 新旧3Dプリンタの運用方針	22
[報告事項]	
1. 博士課程教育リーディングプログラム ヒアリング審査	23
2. 大学院生連絡会	24
3. 外部資金受け入れ	26
4. 11月修了学位論文審査	27
5. 研究科共通経費	28
6. 研究倫理委員会審査報告	29
7. 2012年度 第7回 系運営委員会	32
8. 2012年度 第8回 研究科運営委員会	33
9. 2012年度 第8回 系運営委員会	34
10. 2012年度 第9回 研究科運営委員会	35
11. 2012年度 第9回 系運営委員会	36
12. 2012年度 第10回 研究科運営委員会	37
13. 2012年度 第5回 専攻教授会	38
14. 専攻内各委員会からの報告	
学務、カリキュラム、教育改革、入試、広報、FD、財務、庶務、施設、インターンシップ、サブネット、早期修了プログラム、共用工作など	

平成 24 年度第 5 回 構造エネルギー工学域教員会議
平成 24 年度第 5 回 構造エネルギー工学専攻教育会議
日時：平成 24 年 9 月 21 日(金) 10:00 ～
場所：3E301

審議

- (1) 前回議事録の確認
- (2) H24 教育研究環境改善経費(間接経費相当額) について
- (3) 専攻広報について
- (4) 2 学期制の実施に向けたカリキュラム検討について
- (5) 専攻 PDCA について
- (6) シス情における学生表彰基準(学長表彰)について
- (7) 部屋割りについて
- (8) その他

報告

- (1) シス情系名簿(H24.8.1)の確認
- (2) 役割分担の確認
- (3) 平成 24 年度 8 月期入試結果報告
- (4) 大学院博士課程入学定員変更(平成 25 年度概算要求)について
- (5) 平成 25 年 3 月期学位予備審査(博士)について
- (6) 平成 24 年度修士論文公開発表について
- (7) 2 学期制の実施に向けた検討状況について
- (8) 連携大学院について
- (9) 平成 23 年度筑波大学 FD 活動報告
- (10) JAXA との人材育成に関する覚書について
- (11) ブラジル政府派遣留学生の受入に係る調査
- (12) 施設利用状況調査
- (13) ホームカミングデーについて
- (14) 平成 24 年度学生生活関係教職員研修会
- (15) 社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」説明会
- (16) 高知工業高等専門学校機械工学科の見学(2012.10.09)について
- (17) システム情報系運営委員会(2012.07.24)報告
- (18) システム情報系運営委員会(2012.08.29)報告
- (19) システム情報系運営委員会(2012.09.12)報告
- (20) システム情報工学研究科運営委員会(2012.07.24)報告
- (21) システム情報工学研究科運営委員会(2012.08.29)報告
- (22) システム情報工学研究科運営委員会(2012.09.12)報告
- (23) 教授懇談会(2012.07.25)報告
- (24) 学籍異動
- (25) その他

以上

次回:

日時：平成 24 年 10 月 17 日(水) 10:00 ～
場所：3E301

2012年度 第5回

システム情報工学研究科 リスク工学専攻 教育会議

日時：2012年9月5日 16:00～18:00

場所：総合研究棟B 1201室

出席予定者 糸井川、稲垣、内山、岡本、金野、鈴木、津田、宮本、吉田、伊藤、イリチュ、遠藤、岡島、片岸、亀山(啓)、倉橋、庄司、羽田野、ブシャ、古川、村尾、梅本、谷口、金岡(敬称略)

議事録担当：梅本講師

議題

- 1 前回議事録確認
- 2 博士前期課程7月期推薦入試募集定員の変更について
- 3 博士論文審査日程について
- 4 各委員会からの審議・報告事項
 - 4.1 カリキュラム委員会
 - 4.2 達成度評価委員会
 - 4.3 広報委員会
 - 4.4 学年・演習担当
 - 4.5 FD委員会
 - 4.6 就職委員会
 - 4.7 その他
- 5 教授懇談会・研究科・系運営委員会報告
 - 5.1 リスク工学専攻教授懇談会
 - 5.2 システム情報系運営委員会
 - 5.3 システム情報工学研究科運営委員会
- 6 その他
 - 6.1 アイソトープ環境動態研究センター兼担について
 - 6.2 総合研究棟B警備

次回 10月3日 16:00～ SB1201

議事録担当 谷口講師